

小學
動物教授書

埃辰二編輯

上

氏家靖子

鄉土教育

五五二〇

堤辰二編輯

第一圖
第二圖

小學動物教授書

高陽

煥乎堂梓

群馬縣立小學校動物教授書卷ノ上

教育科第一號
郷土研究此書

例言

物凡ソ三百六十品許ヲ略述シタルモノナリ

一此書ハ小學校ニテ博物學ヲ教授スル順序ニ隨ヒ名稱部分常習種類効用ヲ擧ゲ之ニ附スルニ本條ニ因アル雅談俚話辨解等ヲ以テセリ是兒童ニ快樂ヲ與ヘ倦怠ヲ生ゼザラシメンガ為メナリ

一此書ニ擧グル所ト雖者者必シモ泥ム勿レ就中小學教師ハ適宜ニ其條ヲ取捨増減シテ活潑ノ教授アラントコソ編者ノ希フ所ナレ

一本草啓蒙本朝食鑑大和本草及ヒ博物局ノ動物畫圖田中君ノ動物訓蒙等ハ大ニ力ヲ此書ニ與ヘタル者ニシ

小動物教授書 例言

テ日本物産誌博物雜誌和漢三才圖繪等ハ皆其條ヲ徵用セリ其他一條一節ヲ參考セシモノハ一々之ヲ舉ゲ

ズ

明治十五年十一月

編者識

一 動物ノ種類
二 動物ノ生命ヲ保存シテ常ニ自由ノ運動ヲ為スベキ勢力ヲ具有スル物ノ謂ニモ其形状容量ノ何タルヲ論セズ其浮泳シ飛翔シ歩行シ徐歩走歩スルヲ問ハズ凡テ之ヲ總稱スルノ名ナリ
三 動物ノ種類タルヤ漸次相近似シテ恰モ一連環ノ如シ終ニ判然彼此ヲ分別スル能ハザルニ至ル學者其名ヲ知り其性ヲ識ル者既ニ三十萬種アリト云フ

小動物教授書卷之一

動物ノ種類

提辰二纂輯

動物トハ生命ヲ保存シテ常ニ自由ノ運動ヲ為スベキ勢力ヲ具有スル物ノ謂ニモ其形状容量ノ何タルヲ論セズ其浮泳シ飛翔シ歩行シ徐歩走歩スルヲ問ハズ凡テ之ヲ總稱スルノ名ナリ

動物ノ種類タルヤ漸次相近似シテ恰モ一連環ノ如シ終ニ判然彼此ヲ分別スル能ハザルニ至ル學者其名ヲ知り其性ヲ識ル者既ニ三十萬種アリト云フ

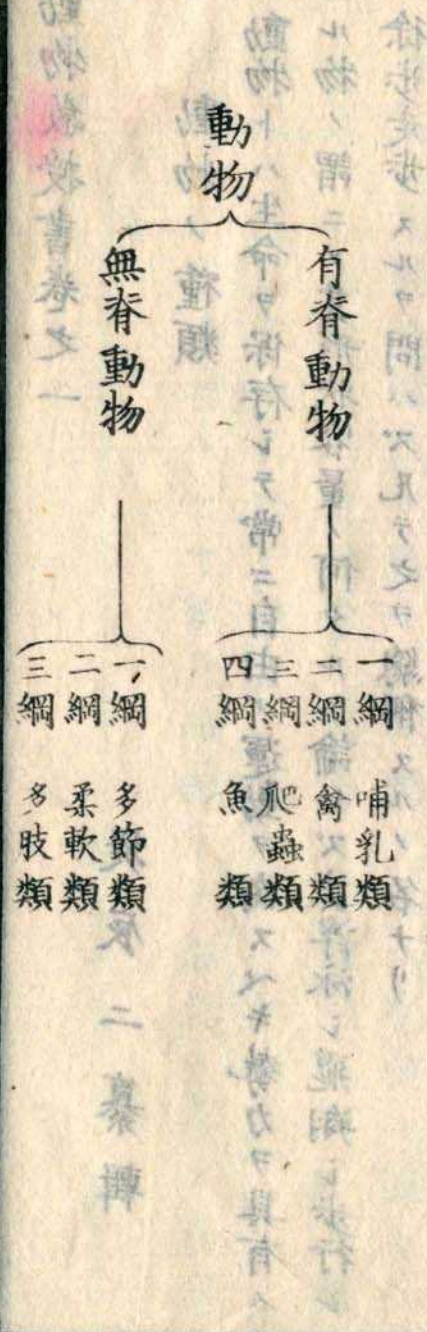
動物學ノ大意

動物ハ萬物中ノ高尚ナル者故ニ之ヲ講スルノ學モ亦高尚ナラザルヲ得ズ是ニ由テ造化ノ妙エヲ窺ヒ人間無上ノ快樂ヲ得ベシ此學ノ最モ緊要ナルハ徒ニ人間ニ直接スルノ利益及ヒ地質學上ノ

大疑問ニ關係スル等ノ為ニ非ズ即自己ニ嚴密ナル注意比較ノ慣習ヲ養ヒ論理力及ヒ廣ク概論スル能力ヲ發生セシムルニアリ

動物ノ分類尚ナシテ其始ニシテハ諸國ノ學ヲ亦高シクモ

學者此千殊萬別ナル諸動物ヲ互ニ相比較シ遂ニ動物分類ノ良法ヲ考定セリ此法タルヤ相類似スル動物ヲ數網數目ニ收集レ一目瞭然トシテ其差異アルヲ知ラシムルニアリ今爰ニ其略表ヲ掲テ記憶ニ便ナラシムルハナク其大體ハ此ノ如クナリ



有脊動物第一

哺乳類

骨格 軀ノ内部ニアリテ頭骨脊骨ニ連リ身體ノ支柱トナルモノ之ヲ有脊動物ト云フ

有脊動物中第一階ニ位シ胎生ニシテ多少ノ時間皆母ノ乳ヲ仰テ以テ生長スルモノ之ヲ哺乳類ト云フ此動物ハ皆肺ヲ以テ呼吸シ其血ハ赤色ニシテ温暖ナリ又心臟ハ二室ト二耳ヲ具フルモノナリ

第一四手類即チ獼猴類

此類ノ形狀ハ較人類ニ近似スレモ其實ハ大ニ異ナレリ言語ヲ解スルヲ無クシテ四肢ハ皆四指ト拇指トヲ具ヘタル手ニシテ足ナキモノナリ其食物ハ果實草根蟲類等ナリ



名稱 猩々

頭 山ノ毛長
大ニテ兩頬
六枚アリ
肩毛アリ
澤深ナレ
人耳ニ似タリ

部分 頭 喙 目 鼻 耳 面 肢 尾 毛 長
灰褐色
黒シ後肢蹄對ナ
ナレ
赤褐色長シ
三尺ヨ本八五尺
ヨ至ル

名稱 獼猴



名稱 獼猴

部分 頭 喙 眼 鼻 耳 面 肢 尾 毛 長
前ニ突出テ頰
齒人齒ノ如
口ニテ兩頬ニ接
ヒリ
人耳ニ似タリ
低シテ軟シ
赤クシテ毛ナレ
四手アリテ掌ハ黒
多キク爪ハ平屬
毛ク赤クナリ
短シ
長クシテ
二尺四五寸許リ

常賞 亞細亞ノ南方ニ産ス森林中ニ枝葉ヲ集メ小屋ヲ作り棲ム
果實ヲ食シ又海辺ニ出テ魚蝦等ヲ食シ地ニテリテハ立テ歩ス
ルノアリテ多クハ坐行ノ状ヲナセリ此獸ハ熱地ニ産スル故寒ヲ恐
ルニ甚シ

種類 亞非利加黑猩アリ
雅仔ノキヨリ養養スレバ能ク人ニ馴ル
猩々緋ハ此血ヲ以テ赤ムルト云フ

附說 此獸酒ヲ嗜ミ性至テ機警ヨク人ノ姓名祖先ノ名字及人
家ノ姓事等ヲ知ルコトヲ捕フルニ酒ト高段ト常ニ往來ス路
傍ニ置テ其已ヲ捕フル設ケナルヲトリ人ノ姓名ヲ呼テ罵馳
レ去リ再來リ始テ指ヲ以テ酒ヲ試シ數管ヲ卒ニ醉フニ至リ
高段ヲ着ケテ笑ヒ舞フニ終ニ人ニ捕ヘラレト云フ

常賞 山林中ニ群ヲナシテ棲ム至テ敏捷ニノ狡猾ナ
リ常ニ果物ヲ食ヒ又園圃ノ菓菜ヲ竊ミ食フ物
ヲ食スルニ必ズ皮ヲ剥ギ之ヲ食シ噉中ニ貯ヘ
後又之ヲ出し食フ

種類 江州ノコノハザル四国ザル又粉川ザル等アリ

效用 養テ戯技ヲ習ハシムルトキハ能ク其養主ノ命
ニ從ヒ各種ノ跳舞ヲナシ大ニ人ノ目ヲ悦バン
ムルモノナリ

附說 紀州ノ岸甚兵衛ナル者始テ猿廻シヲナスト云

名稱 猿



名稱 猿

部分 頭 喙 眼 鼻 耳 面 肢 尾 毛 長
大ニテ
口ニテ近接
人耳ノ如シ
扁ク褐色ニシ
肩田ニ灰色
長毛アリ
前手甚ク長シ
後手尋常ナリ
脊黒色ニシ全
身ニ粗毛ナシ
容生ス
長
三四尺

常賞

東印度及ヒ亞細亞諸島ニ産ス深山中ニ棲ム性
柔順ニシテ多クハ常ニ立歩セリ其行クヤ多ク
ハ群ヲナシ其鳴クヤ一鳥三声凄切ニシテ聞ニ
堪ヘズ食餌トスル物ハ果実樹葉樹皮等ナリ此
獸高山ノ樹枝ヨリ數十猿手ト手ヲ連木下リテ
溪水ヲ掬シ飲ムコトアリト云フ

種類 長臂猿ノ品類甚ク多シ皆外國産ナリ

常賞 亞細亞ノ南方ニ産ス又亞水利加ニ産ス
レドモ稍異ナル所アリ其種一ナラズ此類夥ク
ニ至線間ノ地ニアリ山林ニ棲ミ果實ヲ食トス
性躁ニシテ強悍ニシテ他ノ獸ニ抵抗シ進テ野
ノ獸ヲノ皆巴カ部下ニ屬セシメント欲セリ故
ニ虎獅ノ如キ猛獸ト魚更ニ恐怖スル色ナシ

部分



部分

部分 頭 喙 眼 鼻 耳 面 肢 尾 毛 長
四ノ長キ綠黃
色ノ鬚アリ
大ニテ尖ル
口ニテ仰ク
低クシテ仰ク
皺多シ
四手アリテ掌ハ
黒クシテ毛ナシ
甚ク長シカク
ト力ナキト兩
種アリ
淡褐色ニシテ背ハ黒色ヲ帶フ
一尺五寸ヨリ四尺ニ至ル小アリ

名稱 果然

名稱 果然

名稱 果然

效用 皮ヲ以テ褥ト作レバ麗好細厚ニシテ温暖ナリ

種アリ

第二翅手類即チ蝙蝠類

此類ハ飛翔スルノ力アリテ他ノ哺乳類ニ異ナリ然レモ飛翔ノ機ハ全身ヲ蔽ヘル薄膜ニシテ全ク鳥ノ羽翼ニ異ナリ皆夜間ノ小獸ニシテ食餌トスル所ノモノハ小蟲類又ハ菓實等トス



名稱 蝙蝠 カハホリ
カクモリ
カクモドリ

頭 四シ
喙 尖リ上下ニ
眼 細齒並ニ
耳 小ナリ
肢 鼠ノ如ク大
翅 前肢ハ鈎爪
後肢ハ五指
毛 前肢ノ後肢
暗褐色又ハ茶
褐色

常習

都鄙ノ人家堂社等ノ屋下壁間ニ棲ム皆昼間ハ伏シ薄暮ニ至リ飛翔シテ蚊蚋ヲ食フ夏月ハ鳴カス秋後ハ悲鳴ス声鷓鴣ニ似タリ此獸ハ非常ニ嗅神經ノ鋭敏ナルヲ以テ故ラニ其目ヲ盲ニテ放ツモ決シテ衝突スルノ患ナシト云フ

種類

鼻上ニ菊形状ノモノアルト長耳ノモノト白毛ノモノ等ノ種アリ
屎ヲ天糞屎トス即チ藥用ニ夜明砂ト云フモノナリ又肥料ニ功アリト云フ

長二寸許リ



名稱 オホカハホリ

頭 ヤ長シ
喙 尖ル齒鋭シ
眼 大ナリ
耳 小
肢 前種ニ同シ
翅 前肢ニ同シ
毛 全体暗黒色
長 三ニテ軟容ナ
ル毛ト淡色長
八寸許リ翅ヲ
張ンハ殆ント三
尺アリ

常習

此類ハ多クハ食虫部ナレモ此ノ一屬ハ食果部ナリ深林又ハ巖洞中ニ棲ミ樹枝ニ連垂ス黄昏ヨリ迅速ニ飛翔シテキイクト鳴キ芭蕉其他ノ果実ヲ食ス罔養スルニハ蒸シタル蕃薯及ヒ熟セル果実ヲ以テス夜間ハ鳴キ噪操スレハ晝間ハ常ニ倒掛シテ至テ靜カナリ且寒氣ヲ畏ル、
一甚シク皆互ニ密着シテ暖ヲ取ル

効用

産地ノ島民ハ之ヲ食フ味美ナリト云フ
皮ハ風領冬帽等ニ供スベシ

第三殺生類

此類ハ皆他ノ動物ヲ殺シテ生肉ヲ食スルモノニシテ其齒ハ其食ヲ取り且之ヲ碎クニ適當ス獸類中強暴ニシテ恐ルヘキ者此目ニ多シ即チ之ヲ三部ニ分チ食蟲部肉食部鱗脚部トス

其一食蟲部

即チ昆蟲ノミヲ食トスルモノナリ此他哺乳類中昆蟲ヲ食フモノ多シト雖モ此ハ其身體ノ構造特ニ蟲類ヲ食フニ適スルヲ以テ此部ニ入ル



名稱 鼯鼠
ウグロモチ
モグラ

部分 頭 喙 眼 鼻 肢
肥扁ナリ
瘦ス
尖ル
至テ小シ
長ク尖ル
前肢肥大ニメ
短ク五指ヲ具ヘ
左右ニ開ケ後
肢ハ短ク小レ
細軟ニテ暗褐
色
五寸許リ

名稱 鼯鼠
ハネズミ
ヒメズミ



名稱 鼯鼠
ハネズミ
ヒメズミ

部分 頭 喙 眼 鼻 耳 肢 尾 毛
瘦テ長シ
尖ル
至テ小ナリ
頰ル長クヒテ捲
屈スベレ
鼠ノ如クニシテ
伏ス
鼠ノ如シ
細ク長シ
暗褐色
三寸許リ

常習 菜園庭園等ノ土中ニ棲ム前脚力強ク能ク土ヲ
掘シ早且ニ地下數寸ノ処ヲ潜行シテ蚯蚓等ヲ
索メ圃土ヲ墳起ス地上ニ出レバ日光ヲ忌ムコ
甚クシ故ニ嗅官敏捷ニシテ恰モ目ノ能力ヲ併
有スルガゴトニ此獸ノ性ハ溫柔ナルニ似タリ
ト虫氏決シテ然ラズ殊ニ兇孽ニシテ同類中ニ
テ常ニ相搏殺スルモノナリ

効用 昆虫繁殖ノ害ヲ防グベシ
皮ハ柔軟ニシテ刀劍類ヲ拭フニ適ス

常習 山林菜圃ノ中ニ棲ム性質鼯鼠ニ類ス常ニ土中
ヲ潜行シテ蚯蚓等ノ虫類ヲ搜索シテ食フ若シ
誤テ土上ニ出デ日光ヲ見ルコトアレバ忽チ死
ス是ヒヒミスノ名アル所以ナリ此獸豚ヨリ一種
ノ香氣ヲ放ツヲ以テ猫モ之ヲ殺スコトアルモ
決シテ食フコトナシト云フ

種類 麝鼯鼠アリ

効用 昆虫増殖ノ害ヲ制ス



名稱 獾
ハリネズミ

部分 頭 喙 眼 尾 毛
頭背兩脇ニ
短刺アリ腹ニ
柔毛ヲ被フ
長ク尖ル
田レ
短ク小ナリ
暗褐色
五寸乃至尺

常習 歐羅巴又支那ニ産ス藪多キ地或ハ古木ノ洞中
等ニ棲ム力弱クシテ動作敏捷ナラス晝間ハ蟄
レ夜間ノミ出テ、果实虫類及ヒ蟹蝦小鳥爬虫
ヲ食フ又ヨク喙頭ヲ以テ地ヲ穿テ蚯蚓蟋蟀等
ヲ食フ若シ他ヨリ襲ハル、片ハ身ヲ屈縮シテ
球状ヲナシ又水ヲ渉ルキ一種ノ患臭ヲ放テ人
ノ捕獲ヲ避ク冬月ハ身軀麻痺シテ知覺ナキモ
ノ、如シ其性ハ馴養レ見

効用 園養シテ鷓鼠及ヒ鼠ヲ捕ヘルムベシ
肉ハ生熟トモ食ス

其二肉食部

即チ他獸ヲ殺シテ食餌トナス者ニシテ皆殺生類
中ニテ著名ノモノナリ





名稱 熊 マグマ

部分 頭 眼 耳 肢 尾 毛

大ニレテ四レ
大ナラズ
小ナリ
四肢太クテ
爪鋭ク黒シ
全身黒色ニテ
喉下ニ新月形
ノ白毛アリ
レヲ月ノ輪ト
云フ
六尺許

常習

深山幽谷ニ棲ム信州木曾ニハ殊ニ多シ此獸ハ
踵ヲ以テ歩ス故ニ怒ルギハ人立スカ殊ニ強ク
又ヨク樹ニ登ル常ニ果実ヲ食シ殊ニ甘味ノ物
ヲ嗜ム冬月ニ至レバ穴中ニ蟄居シ此獸性猛擊
ナリト云ル兒ノキヨリ園養スレハヨク人ニ馴
押スルモノナリ

効用

皮ハ褥トナスベシ
膽ハ藥用ニ供シテ健胃ノ効アリ
肉ハ食フベシ

名稱 熊

部分 頭 眼 耳 肢 尾 毛

アカクマ
ヒダクマ
シヤクマ
大ニレテ四レ
大ナラズ
小ナリ
四肢トモニ太
短シ
全身暗褐色
毛長シ
大ナルハ九尺
ヨニ至ル

常習

北海道ニ産ス尋常ノ熊ニ比スレバ頗ル大ナリ
此獸ハ喉下ニ新月形紋ナレ性最モ猛擊ニレテ
多ク人ヲ害シ往々牛馬ヲモ捕獲シテ食シ或ハ
夜間馬ヲ益ミ肩ニ負ヒ人立シテ走ルコトアリ
冬ハ川辺ニ來テ松魚ヲ捉リ食フト云フ

効用

皮ハ褥等ニ供スベシ
土人此獸ヲ幼兒ヲ養ヒ置キ成長ノ後殺シテ祭
ヲナス土人ノ最モ祝スル所ナリト云フ

附說

諸國ノ山中ニ穴居ス爪長キ改穿堀ニ便ナリ又
鼻ヲ以テ地ヲ掘リ食ヲ求ムルヲ豚ニ似タリ動
作捷疾シテ亦ヨク樹ニ攀登スト云フ多クハ
夜間食物ヲ搜索ス日光ヲ厭フモノ、如シト云
ス食餌ハ果実樹根小虫類等トス

名稱 猪

部分 頭 眼 耳 肢 尾 毛

アナグマ
アナホリ
細シ
犬ル
川クノ銳シ
短シ
四肢トモニ短
大ニレテ短シ
暗褐色頸ノ
中共リ鼻上
ニ至ル灰白色
毛

常習

諸國ノ山中ニ穴居ス爪長キ改穿堀ニ便ナリ又
鼻ヲ以テ地ヲ掘リ食ヲ求ムルヲ豚ニ似タリ動
作捷疾シテ亦ヨク樹ニ攀登スト云フ多クハ
夜間食物ヲ搜索ス日光ヲ厭フモノ、如シト云
ス食餌ハ果実樹根小虫類等トス

効用

肉ハ野猪肉ニ似テ美味ナリ
諸國ノ山中ニ穴居ス爪長キ改穿堀ニ便ナリ又
鼻ヲ以テ地ヲ掘リ食ヲ求ムルヲ豚ニ似タリ動
作捷疾シテ亦ヨク樹ニ攀登スト云フ多クハ
夜間食物ヲ搜索ス日光ヲ厭フモノ、如シト云
ス食餌ハ果実樹根小虫類等トス

名稱 貂鼠

部分 頭 眼 耳 肢 尾 毛

キテン
ライレウ
長シ
大ニレテ犬ル
長カク
四肢長タム各
五指アリ爪モ
長ク彎曲ス
大ナル背毛ア
リ
全身褐色
胸腹内ハ
黄赤色ナリ
尺六七寸

常習

深山ニ棲ム毛ハ至テ柔軟緻密ナリ性軽捷ニシ
テ最モ樹木ニ登ルニ巧ニナリ此獸ハ雷鳴ノ声
ヲ聞クニ甚ク恐怖シ往々村里ニ出ツルコトアリ故ニ人
誤列雷獸ト呼バセリ

種類

備州土州刻ク口ニボウト呼ブモノアリ拂蒜狗
ニ似テ深黒色能ク木ニ上リ壁ニ上ル是木狗ナ
リト云フ雷獸ハ此ノ種類ナリ

効用

皮ハ冬帽風領トナシ又用ニ宜シ





名稱 黃鮪
 頭 吻長シ
 眼 尖シ
 耳 小ニテ立ツ
 眼 短クシテ三指ヲ具アリ
 尾 長クシテ太シ
 毛 黄茶色ニシテ長シ
 長 一尺四五寸

常習 諸國ノ山地ニアリテ多クハ堂舎敗屋等ニ棲ム
 毛色冬月ニ至テ殊ニ美ナリ他ノ小動物ヲ捕殺シ
 食餌トスルニ鮪鼠ニ同シ此獸ノ老タルモノハ
 全身淡黄色トナル
 効用 皮ハ帽子風領トナスベシ
 毛ハ筆ヲ製スルニ用ユ
 附説 世俗鮪鼠ノ老大ナルモノ変シテ黃鮪トナルト
 云フハ誤リナリ
 山ノ邊ニ至テ是ノ魚ハ至テ是ノ魚ハ至テ是ノ魚ハ至テ



名稱 鮪鼠 イダチ
 頭 吻長シ
 眼 尖ラズ
 耳 小ナリ
 眼 短クシテ丸鏡
 尾 太クシテ長シ
 毛 黄赤微黒色
 口 辺黒色ヲ帯
 長 一尺許リ

常習 都鄙人家ノ檐下等ニ棲ミ性敏捷ナリ跡驅柔
 軟ナル故ニ能ク竹筒中モ及轉シテ出入スベシ
 多クハ夜間ニ出テ鳥類魚類ヲ害シ又好テ雞鼠
 ヲ捕フト虫ニ唯其血ヲ吮フノミニシテ其肉ヲ
 食フコトナシ他ヨリ糞ハルトキハ一種ノ惡臭
 ヲ放チテ之ヲ避クト云フ
 種類 マイダチアリ
 効用 皮ハ風領トスルニ宜シ



名稱 水獺 カハヤソ
 頭 吻長シ
 眼 尖リ粗鬚アリ
 耳 小シ
 眼 短クシテ趾間ニ蹠アリ
 尾 本ハ扁平ニシテ太ク末ハ四ツ尖
 全身灰褐ヲ淡
 濃ニ様ナラス
 大ナルハ三尺ヨニ至ル

常習 諸國水辺ニ穴居シテ棲ミ魚ヲ捕リ食フ趾ニ蹠アリテ
 自在ニ水中ヲ游泳ス毛ハ柔軟ニ直立シ容ニ生ヌ性捷敏ニ
 テ牙尤モ堅シ諸魚ノ中殊ニ赤目鳥ヲ好ミ食フ
 種類 能州ニヤマソト云フ一種アリ
 効用 帽トナシ褥トナス等其用海獺皮ニ劣ルナシ
 赤目鳥ヲ器中ニ蓄フレバ獺竊ニ入リテ之ヲ食ヒ尽シ獺
 ノ器中ニ殘レルヲ以テ俗ニ赤目鳥水獺ニ化スルト云ヘリ
 又人家ノ井中ニテ偶大水ノ流ルハ声アリテ世人大ニ之ヲ
 怪シムアリ是ハ此獸ノ水中ヲ旋轉スル声ナリト云フ



名稱 海獺 ラソコ
 頭 吻長シ
 眼 尖リテ粗鬚アリ
 耳 小シ
 眼 短クシテ五指ヲ具ヘ指間ニ蹠
 尾 太クシテ短シ
 全身暗黒色
 大ナルハ五六尺アリ

常習 太平洋ノ北部北亞米利加及ヒ我北海道千島ニ
 産ス大ナル者ハ其量四十斤ニ至ル牀肥大ニシ
 テ毛ハ細密ニシテ且光沢アルヲ以テ大ニ貴重
 セラル常ニ海辺ニ棲ミ風波荒キハ海藻ノ間
 ニ隠ル性嬉戲ヲ好ム其兒ヲ育スルハ殊ニ甚
 ダシ其食スル所ハ多クハ鳥賊蝦類其他魚類等
 ナリ
 効用 皮ハ帽子衣服等ヲ製スル最モ善良ナル材料ナ
 リ



名稱 狗 イヌ

部分 頭 喙 耳 眼 肢 尾 毛 長
 長シ 犬ノ齒牙鋭
 利ナリ 小ニメ立ツト大ニ
 メ至ルハトアリ 尋常ナリ
 前肢ニ五指後 肢ニ四指ヲ具テ
 爪ハ鋭シ 太キト細キトアリ
 多クハ捲テ背ニ 負フ 自黒赤斑等アリ
 三尺許リ

常習 諸国到ル所大狗ヲ産セサルナレ其愛情アルト誠實ナルヲ他
 ノ獸ニ卓越ス故ニ之ヲ馴養スルヲ諸獸ヨリ甚ダ容易ナリ此
 獸ハ力勢大ニテ走ルヲ速カナリ鼻ハ善ク嗅ク已ノ主人ノ鼻
 カキワケ或ハ山中ニテ獸ノ跡ヲカギテ追ヒユクテアリ喜ズバ尾ヲ
 揺テ其意ヲ表ス食餌ノ足ラザルハ往々竊盜ヲナスアリ
 喙ノ長キ北犬ノカキイヌト云ヒ善ク肥テ肉厚キヲムクイヌト云ヒ見
 馴レザル人ヲ吠ユラカヒイヌ又ハボヘイヌト云フ形小ニテ毛長ク面ヲ
 掩フヲスサキニト云フ此他トウケン洋犬等アリ
 守犬ノ門ヲ守ラシムシ獵犬ハ獸獵ニ用キ食犬ハ食用ニ供スベシ又
 換ヲ率カシムベキ者アリ
 附説 凡ソ此獸ニ附テハ知恩酬仇等ノ奇談多シ捕鳥部萬自良煙郎
 左門ノ獅子犬李信純ノ鬼電犬陸鏡ノ黄耳犬等ハ皆人ノ喜テ
 聽ク所ナリ



名稱 豺 ヤマノイヌ

部分 頭 喙 耳 眼 肢 尾 毛 長
 長シ 犬ノ如シ
 尖ル 齒牙鋭
 利ナリ 薄クシテ微大
 ナリ 常犬ノ如シ
 四肢ハアリ長
 クシテ寬面アリ
 長クシテ下盤ス
 多クハ黄褐色
 ナリ 三尺ハセテ

常習 諸国ノ山中ニ棲ミ小獸ヲ採リ食フ固ヨリ貪食
 強暴ナレバ性怯弱ナルヲ以テ人家ニ近クナリ稀
 レナリ冬春ノ間積雪ニ逢フテ食餌ニ乏シキハ
 村里ニ出テ人馬ヲ害スルヲ狼ノ如シ此獸ハ棘
 大ニ瘦セテ水禽ノ臭氣アリ狼ハ躑アレバ此獸
 ハナレ故ニ水ヲ涉ルヲ能ハス
 効用 毛ヲ採リテ筆ヲ製スベシ
 附説 此獸村里ニ近キ処ニ兎ヲ産スルヲアレバ村民
 皆食餌ヲ与ヘテ之ヲ貴ア此食ニ飽カシメザレ
 バ人物ヲ害スルヲ以テ所謂敬シテ遠ザクルモ
 ノニ似タリ



名稱 狐 キツネ

部分 頭 喙 耳 眼 肢 尾 毛 長
 長シ 犬ノ如シ
 尖ル 齒牙鋭
 利ナリ 薄クシテ微大
 ナリ 常犬ノ如シ
 四肢ハアリ長
 クシテ寬面アリ
 長クシテ下盤ス
 多クハ黄褐色
 ナリ 三尺ハセテ

常習 諸国共ニ多ケレバ四國及對州肥前ノ五島ニハ
 産セヌト云フ此獸ハ多ク村里ニ近キ小丘叢篁
 等ニ棲ミ穴居ス夜間出テ食餌ヲ搜索シ家雞小
 禽ヲ捕ヘ食フ性狡猾敏捷ナリ他ヨリ襲ハレ窘
 迫スル所ハ惡臭ヲ尾テ避クト云フ
 種類 白狐黒狐又灰白色ノモノ黒白斑駁ナルモノアリ
 毛皮ハ裘トナシ又革具トナスベシ
 効用 信州諏訪湖冬月氷合テ人馬氷上ヲ行キ春氷解
 テ往來止ム皆狐ノ往來ヲ窺テ的準トナスト云
 フ是狐善ク氷下水声ノ有無ヲ聽クヲ以テナリ
 附説 此獸ニ附テハ有名ナル王藻前ノ小説アリ此他
 奇談甚々多シ



名稱 狸 タヌキ

部分 頭 喙 耳 眼 肢 尾 毛 長
 長シ 犬ノ如シ
 尖ル 齒牙鋭
 利ナリ 薄クシテ微大
 ナリ 常犬ノ如シ
 四肢ハアリ長
 クシテ寬面アリ
 長クシテ下盤ス
 多クハ黄褐色
 ナリ 三尺ハセテ

常習 諸国ニ多キヲ狐ニ同シ多クハ古堂藥社等ノ床
 下ニ穴居ス夜間食餌ヲ索ムルヲ狐ニ似タリ然
 レバ害ヲナスヲハ狐ノ如ク甚シカラス
 種類 マミダヌキサルダヌキハ文字狸アリ
 毛ハ筆毛トスベシ 八文字狸ハ食ハ味美
 銀工ノ風箱ニ用ナルハ八文字狸ノ皮ヲ殊ニ濃リト
 効用 此獸腹ヲ鼓シテ自ラ樂ムヲアリ之ヲ狸ノ腹鼓
 ト云フ又夜間竊カニ山家ニ求リ燼火ニ向テ殿
 フ取リ陰囊垂延シテ身ヨリ大ナルヲアリト云
 附説 此話笑談柄ニ供スベシ



名稱 猫
ネコ
ネコマ

部分
頭 微細クシテ方
ナリ鬚長クメ
四齒ノ鋭キル
薄シテ自在
二動ク
腫子伸縮ス
四趾鋭爪ヲ具
長シ
黒白赤斑駁等アリ
一尺余

名稱 豹
ハウ
ナカツカミ

部分
頭 ヤ、四シ
細クシテ方ナ
鬚長シ
屹立ス
腫子伸縮ス
四肢ノ鋭
利ニシテ伸縮
ス
長シ
帯黒黃褐色
ニシテ斑文アリ
三四尺

常習
此獸ハ原ト我國ニ産セズ皆舶来ナリ今ハ人家ニ畜養シ
諸国ニ多ク繁殖ス其腫子正午ニハ直線ヲナシ午前後
モ三次第二太ニ世俗其腫子ヲ見テ時間ヲ略スルヲア
リ眼アレバ前肢ニテ頻リ二面ヲ撫ツルヲ常トス之ヲ俗ニ
假粧ト云フ支那ニテハ洗面ト云フヨシ爪ハ平常ハ趾中ニ
匿リシテ隨意ニ之ヲ伸縮スベシ伸ルキハ長ク鋭利ナリ
性寒ヲ恐ル狗鼠トハ讐敵ナリ鼠ヲ見ルニ直ニ捕テ之
ヲ食フ狗ニ逢ハハ乃チ嚙殺サル猫ノ九異ハ大和本草ニ詳カ
ナリ

種類
ノネコ、ヤマネコ、ハ山野自生ノモノヲ云フ
効用
鼠害ヲ除クベシ 三絃、胴ヲ張ルハ皆此皮ヲ用キル

常習
我邦ニ産セズ亞細亞非利加ニ産ス虎ト同ジ
ク猫屬ナレド全ク別種ナリ虎三子ヲ生ムトキ
ハ必ス一豹アリト云フ説ハ信ズベカラズ性人
ヲ畏ル喜テ小獣ヲ咬ヒ運動迅速ニシテ羚羊
猴等ヲ獵ル力能ク樹ニ上リ跳躍甚ダ疾シ一種
獸ヲ教ユベキモノアリ小ナルモノハ家ニ蓄
テ猫ノ如クナラシムベシ大ナルモノハ麋鹿ヲ
捕ヘシムル為メ獸獵ニ用キ獵犬ノ如クナラシ
ムベシ

種類 白豹 赤豹
効用 毛皮ハ褥トスベシ



名稱 虎
トラ

部分
頭 四ク長シ
方ニ鬚長シ
齒牙鋭利ナリ
古面ニ分許
逆刺アリ
大ニ屹立ス
四趾小鋭利ニ
伸縮ス
淡黄色ニ黒
條アリ甚美麗
六合リ丈ニ至ル

名稱 獅
シ

部分
頭 四レ鬚長シ
長ナリ
大ニ方ニ鬚長シ
大ニ屹立ス
四趾大ナリ腫
子伸縮ス
毛短ク短シ
四趾鋭爪伸縮
ス
流蘇状ノ毛アリ
全棘 前大テ後半
ノ小ナリ
黄色黒色褐色
等アリ 長



常習
我國ニハ産セズ亞細亞洲ニ産ス就中印度新嘉坡
蘇門答立等ヲ最モ多シトシ性點ニシテ残忍ナリ
善ク怒ル高ク小動物ヲ捕食ス声ハ能ク物ニ振ル人
ヲ驚カス力能ク牛ヲ負フテ走ル然レド獅子ニ逢ハハ
之ヲ避ケテ敢テ當ラズト云フ牝虎ハ其兒ヲ愛忠スル
情至テ深シ

効用
皮ハ褥其他ノ用ニ供シテ大ニ貴重セリ
蘇門答立ノ地彌猴甚ダ多シ一タヒ虎ノ来ルヲ見
バ皆恐怖シテ奔リ樹ニ上リ之ヲ避ケドモ虎樹下ニ踞
シ目ヲ睜テ一声咆哮スレハ衆猴驚キ各テ果實ヲ如
ク遂ニ皆食ハルト云フ

常習
亞細亞非利加ノ南方ニ産ス力最モ強ク脚一持ハ以テ容易
ニ馬ノ頭ヲ碎クベシ此獸ニ抗スルハ唯象犀虎アルクモ
獸中ノモト留ラベシ沈着スルハ威德具テ高貴ノ風致アリ怒
ルハ鬚鬚疎疎堅シテ狀如獅憑アリ以テ百獸ニ威服スベシ昼
ハ山嶽穴ニ伏シ夜ハ水濱ニ伏シテ渴セバ飲ム来ルヲ俟テ夜間
ハ出テ食ヲ索メ地ニ伏シテ吼ニ声遠雷ノ如シ麋鹿等戰慄恐
怖シテ其巢穴ヲ逸出シテ却テ其食ハル所トナルト云フ
昔者某ノ傳物園ニテ馴レタ獅子アリ常ニ牧者ト戯ル牧者獅
ノ胎ヲ擊欲ハ且三頭ヲ口中ニ入ル者人股栗トサルニ後牧者死
ス獅悲泣スルヲ救日遂ニ亦斃ルト云フ又羅馬ニテ罪囚ヲ御宇
ニ殺シ之ヲ殺サシメテ獅其人ヲ嚙キ却テ之ヲ親愛シ人怪テ之ヲ問
ハ其人嘗テ獅ノ為メ其刺ヲ技シテアリト云フ

其三 鱈脚部



即千前後肢短ニシテ 潤ク蹠アル橈形ヲナス後肢
ハ甚シク後ニアリテ 體ノ後部ト強力ナル尾鰭ト
ナルモノナリ此類ハ常ニ水ニ住シ時々暖ヲ取り
兒ニ乳哺スルノ他海濱ニ上ルヲ稀ナリ

名稱 臘脚獸



部分 頭 眼 肢 尾 長
頭 吻 齒 牙 小 齒 齒 牙 小 齒 齒 牙 小 齒
眼 瞳 小 瞳 小 瞳 小 瞳 小 瞳
肢 前肢 後肢 前肢 後肢 前肢 後肢
尾 尾 尾 尾 尾 尾
色 ナリ 色 ナリ 色 ナリ 色 ナリ 色 ナリ 色 ナリ
至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ
至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ
至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ 至テ小ナリ

常習 附說 効用

北海道膽振國長ノ部ニ産スル海獸ニシテ海水ヲ以テ
之ヲ養養スルニ身ニ乾ク外ハ水ニ入ルテ少シ聲等ヲ
ナルニ僅カニ嚙テ直ニ嚙下ス屢頭ヲ擧ゲ首ヲ掉テ鳴ク聲馬
ノ嘶クガ如シ其歩行スルハ手鰭ヲ左右ニ開キ匍匐スル様至
テ困難ノ如ク見ユレ水中ニ在リテハ其動作必々自在ナル
シト云此獸ハタテ産セザルガ故 上人ハ大ニ之ヲ貴重ス
毛柔軟トシテ被帽等ニ製スルニ宜シ
臘脚ハ獸ノ名外腎ヲ用キレニ膾ニ連ネテトル故ニ臘脚
膾ト云フ故ニ直ニワットセイヲ獸ノ名トスルハ誤リナリ或ハ壯
獸ヲワットセイト云ヒ此獸ヲワットセイト云フハ誤リナリ尤モ甚シ
キモノト敬蒙ニ見ユ



名稱 海鱸

常習 効用

東南ノ海中ニ産ス天氣晴朗ノ日ハ數十群ヲナ
ナシテ無人島ノ岸上ニ登リ陸内ニ一個ノ陸
ヲザルモノアリ若シ人或ハ獵船ノ来ルヲ見ル
キハ直ニ鳴ク聲ニ報ス此報ヲ聞テ一群皆海中
ニ投入ス俗ニ之ヲシカノ番ト云フ其海中ヲ
行クヤ半身ヲ水上ニ出シ立テ潮水ヲ罷バシ甚
ガ恐ルベキ状アリト云フ
此皮ヲ製シテ兩具トナス片水潤ス能ハヤト云
肉ハ食フベシ 油ヲ取ルベシ



名稱 海豹

常習 効用

此獸ハ各所ノ海中ニ産スレハ水海ニ居ルヲ多
シ北海道ノ海邊ニモ産ス其水中ニ入ルハ鼻
孔ト耳孔トハ自ラ閉塞シ水ヲ游クキハ唯後肢
ノミヲ使用ス其肢短カキ故ニ陸上ニアリテハ
匍匐スルノミ性至テ溫柔ナリ冬月ニ至レハ全
身白色ニ変ス其毛ハ堅立レテ硬シ
豎琴海豹被衣海豹等ナリ
肉ハ食フマシ脂ハ燈火ヲ燃スベシ
皮ハ服スミシ筋ハ絲ニ代ラベシ
腸臟モ種々ノ用ニ充ツベシ



名稱 海馬 セイウチ 北海邊を言 スキザウ

部分 頭 小ク用レ ヤ、細ク方リ粗 鬚多シ上鰐ニ天 ナル牙二本アリ 下歯ス 至テ小ナリ 小ノ陷凹ニ閉 光ナリ 乳甚々潤シ 脚趾爪ヲ具フ 甚々小ナリ 短シク淡青灰 褐色ナリ

常習

北海ニ産ス他ニハ甚々稀ナレ氏北海ノ氷上ニハ數百頭群ヲナシ吼ユル丁往セアリ大サハ牡牛ニ均シク重量ハ大ナル牛ノ二倍ニ均シ陸上ノ運動ハ遲緩ニシテ甚々愚鈍、如クナレ氏水中ニアリテハ進退迅速ナリ若シ人ニ襲ハル、ハ猛烈ノ勢ヲナレテ恐怖スヘシ殊ニ兎ヲ携フルルハ其暴戾モ甚クナレテ以テ舟ノ側面ヲ撃チテ破碎セシムルコトアリ此牙ハ此獸ニアリテハ最モ要用ノモノニシテ或ハ白熊ノ攻撃ヲ防ギ或ハ岩ヲ撃チ氷塊ニ鈎シテ進行ヲ助クト云フ 脂肉共ニ皮ハ食メ味美ナリ 牙ハ彫刻ノ用ニ供ス俗ニ水象牙トイフ 長 大十八寸余ニ至ル

其四齒齒類

此類ハ皆小獸ニシテ其特性ハ齒ニアリテ兩齧ニ各二個ノ長ク且曲リタル前齒アリテ前面ニ突出レ恰モ二對ノ鑿ヲ合スルニ異ナラズ且齧ヲ前後ニ動カレ上下ノ齒ハ鑿ノ如ク相摩擦ス多クハ夜間ノ獸ニシテ食餌ハ多ク木皮木根等植物ノ較堅キモノニ限ル



名稱 栗鼠 リス キネズミ

部分 頭 長シ 尖ル 眼 立ツ 鼻 頂上二個ニ分レ長 立テ角ノ如シ 耳 鼠ノ如シ 腋 潤大ニシ粗糖ナル 長毛アリ 尾 全味淡灰褐色 長 四五寸

常習

山林ノ樹上ニ棲ム下野日光山ニ多シ果實ヲ食フ栗榎坤葡萄胡桃椎子等ハソノ好ム所ナリ此屬ハ躑ヲ俊足ニ安シ前足ヲ手ノ如ク使用ス秋間核果ヲ拾收シテ古木ノ空窩中ニ貯蓄シ冬ニ至リテ之ヲ食フ尾ハ常ニ背ニ負ヒテ項上ニ戴ク其樹枝ヲ飛走スル一最モ速カニシテ或ハ此枝ヨリ彼ノ樹ニ移ルコト容易ナリ之ヲ團養スレバ能ク小車ヲ廻轉スルノ戯ヲナスモノナリ 効用 皮ハ裘ヲ製スベシ 附說 有名ナル李時珍紹ト栗鼠トヲ一物トスルハ誤リナリト云フ



名稱 鼯鼠 ムサシビ モノヅク

部分 頭 圓シ 微尖ル 粗毛多シ 眼 小クシテ立ツ 大ニシテ凹レ 耳 前後ト後腹ノ間ニ 皮膜アリ尾ニ連レ 長クシテ太シ 尾 紫褐色腹下黄 色球鎖ハ雜白色 長 五寸余

常習

和州ノ春日山信州ノ木曾野州ノ日光山其外諸國ノ深山ニ棲ム常ニ木梢ニ穴居ス晝ハ蟄シ夜間出テ、能ク飛ブ葉実ヲ食餌トス此獸而腋ノ間ニ肉翅アルヲ以テ容易ニ樹枝ヲ傳フ但高キヨリ飛ビ下ルマク下ヨリ高ニハ飛ビ登ルノ難シ翅ヲ開ク形恰モ傘ヲ張ルリ知リト云フ

附說

毛皮ヲ取テ孕婦ニ佩バシムレバ産ニ臨ンテ生ミ易カラシムルモノト本草ニ云ヘリ

小方物文書



名稱 鼯鼠 ヲタツギ

部分
頭 大ニシテ田ク長シ
喙 微光ル
耳 小クシテ廣クハシ
大ナリ
眼 四足ニ肉翅アリ
尾 扁大ニシテ尾端ハ
更ニ潤シ
毛 全身黃褐微黒
色
長 一尺許リ

常習
深山樹上ニ穴居ス即チ粟鼠類ノ極メテ大ナル
モノニシテ亦肉翅アリテ飛ブト前種ノ如シ
善ク鳴キ能ク人立シテ前肢ヲ交ヘテ舞フ好テ
粟豆ヲ食フ尾ハ舐軀ヨリ長キ一ニ寸許リ常ニ
首ニ戴クコト粟鼠ノ如シ此鼠モ亦昼間ハ睡テ
静カニシテ夜間ハ甚ク噪ガシキモノナリ

効用
毛ハ筆ヲ作ルベシ



名稱 花金鼠 トヲネミ

部分
頭 田ク長シ
喙 微光ル
耳 大ニシテ立ツ
大ナリ
眼 四足短カシ
尾 長クシテ粗毛
多シ
毛 背上黃茶色ニ
シテ五條ノ黒道
アリ
長 五寸許リ

常習
歐州及ヒ亞米利加北部ノ土中ニ棲ミ又北海道
ニモ産ス常ニ樹上ノ空洞又ハ穴中ニ棲ム若シ
他ヨリ藁ハルハノアレバ樹ヨリ絶デ二十間許
リモ隔ツル樹ニ移ル然レモ多クハ土中ニ巢ヲ
營ミ果実ヲ貯ヘ冬日ハ穴中ニ潜伏スルモノナ
リ又此鼠ハ甚ク鳥鴉ヲ畏レ其來ルヲ見レバ直
ニ避ケ隠ルト云フ

附說
此鼠ニ「ネヅミ」ノ名アルハ其形ノ似タルヲ以テ
ナリ然レモ鼠ノ類ニアラズ粟鼠ノ類ナリ故ニ
西洋ニナハ之ヲ地生粟鼠又ハ線條粟鼠ト名ク



名稱 鼠 ネズミ

部分
頭 長シ
喙 ヤ、長ク尖リ四ツ
銳齒アリ
耳 薄クシテ毛少トナ
屹立ス
眼 小ク田ク突出ス
四足短ク前趾ニ
爪四ツ後趾ニ爪
五ツアリ
尾 細ク長クシテ毛
ナシ
毛 灰黒色
長 五六寸

常習
都鄙トモニ多ク人家ノ壁裏ニ棲ム昼間ハ人ヲ畏レテ取テ
出ザラドモ夜間ハ人ノ寐ルヲ伺ヒ出テ食餌ヲ採
シ器物ヲ嚙損スルヲ甚クシ故ニ壓鼠機ヲ設ケ之ヲ捕
又ハ猫ヲ畜ヒ鼠書ヲ防ク家多ク性狡猾輕捷ナリ

種類
クマネズミ、ヒロネズミ等アリ

効用
鬚毛ニ筆ヲ製スレバ強シ
藥用ニ供スル所多クトモノハ鼠ニ逾テナレト云フ

附說
酉陽雜俎ニ云フ人夜卧シテ故ナク鼠ヲ失フモノハ鼠ノ妖リ
ト又此鼠ノ豫メ人ノ科舉遷居ヲ知り其言ヲ報ヒシヲ數五
雜俎ニ見ヘリ柳州ニ成ノ中永某氏ノ鼠ハ好話柄ト云ベシ



名稱 鼯鼠 ツカネズミ

部分
頭 長シ
喙 細ク尖ル齒頗ル銳
耳 薄クシテ立ツ
小ク田シ
眼 四足短シ
尾 長シ
毛 灰黒色
長 二十余

常習
此鼠ハ鼠ノ小ナルモノニメ人ヲ嚙ムモ痛マズ
故ニアマクチネズミト名アリ肆中ニ多シ土中
ニ穴居シ静ナル片ハ出テ器物ヲ嚙損シ食ヲ竊
ミ大ニ人ノ害ヲナヌ形ハ常鼠ト異ナルヲナシ
只小ナルノミ

種類
マメネズミ、ナンキンネズミ、白色ノ雜駁毛ノミ
ノアリ

効用
箱中ニ養フテ車ヲ廻セシメ兒童ノ娛ミニ供ス
ベシ



名稱 ヤマネズミ

部分
 頭 ヤ、凹シ
 喙 ヤ、尖ル
 目 ヤ、大ナリ
 眼 凹カラレ
 肢 鼠ノ如シ
 尾 細長ニ毛ナレ
 毛 暗褐色
 長 二寸五六分

名稱 豚鼠

部分
 頭 長シ
 喙 ヤ、細ク尖ル
 目 大ニテ短シ
 眼 細クシテ周圍ニ毛ナレ
 肢 四肢短シ
 尾 短ク小シ又ナキ
 毛 白黒橙黄ノ三色ヲ具ス
 長 一尺許

名稱 野兔

部分
 頭 凹シ
 喙 微尖リ吻廣シ
 目 上唇缺テ前齒ニシテ短シ
 眼 動ク
 耳 頗ル長ク自在
 肢 四肢短ク後肢長シ
 尾 短クナリ
 毛 暗褐色
 長 一尺五六寸

名稱 熟兔

部分
 頭 凹シ
 喙 微尖リ上吻缺ク
 目 大ニテ長シ
 眼 大ニテ長シ
 肢 四肢短ク後肢長シ
 尾 純白色
 長 一尺五六寸



常習
 富士其他ノ高山ニミ産ス大サ尋常ノ鼠ト異
 鼠トノ中間ニアリ冬月中ハ土中ニ蟄ス方言之
 ヤマネト稱ス然レドモ日光ニテヤマネト稱
 スルハ衆鼠ノ類ニシテ即チ鼠ノ類ト比海道ニ
 テハ之ヲアクネズミト云フヨシ此鼠トハ別ト
 リ

常習
 此鼠我國ニハ産セズ南亞米利加洲ノ巴拉圭巴西ノ土
 産ナリシガ今ハ傳ヘテ之ヲ畜養セリ其形鼠ト兔
 ノ中間ニシテ兔ヨリハ小シ性モ亦大ニ兔ニ似タリ常ニ
 其毛皮ヲ清潔滑沢ナラシムル為メ甚ク時間ヲ費ヤス
 ト云フ此鼠兎ヲ愛スルノ情至テ薄ク其兎ヲ奪フモ或
 ハ之ヲ殺スラ見ルモ更ニ知ラサルモ、如シ醜キ稚兎ハ母
 鼠之ヲ遠ケテ近クルトナレ

常習
 肉ハ食スベシ兎肉ニ似テ淡泊ナリ
 皮ハ用品ニ供スベシ
 附說
 此鼠ノ名ヲ誤リ傳ヘテ「マルモツ」ト云ヘ其實大ニ違
 リ「マリモツ」トハ土撰鼠ニテ此鼠ノ原名ハ「ネヤヒクナ
 リ」

常習
 山中ニ多シ四肢ノ構造前後ヲ異ニスルヲ以テ山ニ上ルハ此鼠ノ
 甚得意トスル所ノ山ヲ下ルハ甚ク困難ナリ性ニシテ柔
 弱ナリ棲ム所ノ窟穴ノ入口ノラズ獵人一口ヲ塞ギ熏アレ
 バ他ノ口ヨリ逃去ル耳、遠隔ノ声ヲ聞クニ適當レ目ハ自己ノ
 周邊ヲ善ク觀覽シ得ベシ其睡眠間ト至死決ノ閉ツルヲ
 ナレバ此鼠ノ事ヲ恐懼スル習慣ハ其薄弱ナルニ由テ
 速クニ危急ヲ逃避シ得ベキ為メ性ニ出ルト云フ
 種類
 越後ウサギアリ山城ニハ淡黒色ノモノアリ
 効用
 肉ノ味美ナルヲ以テ人ニ賞セラル
 附說
 英吉利ニテハ兎ヲ獵ルニ甚ク數日一日ノ遊獵ヲ以テ四
 五百頭ヲ獲ルコト往々之アリト云フ

常習
 此鼠ハ原ト亞非利加及ビ西班牙ノ土産ナレバ
 舶来シテ今ハ諸国トモニ人家ニテ畜養ス毛色
 ハ白黒雜斑褐斑ノ各種アレバ元来ハ較黄色ヲ
 帶ビタル灰色ノ者ナリ

効用
 食用ニ供スベシ
 畜養シテ娯ムベシ

附說
 近來ハ人大ニ之ヲ賞シ変色異種奇ヲ競ヒ珍ヲ
 街ヒ大ニ世間ニ行レタリヤ故ニ年々異種ヲ多
 ク舶載セリト云フ



名稱 豪猪 ヤマアラシ

頭 四シ 細長ノ
刺毛アリ
微ク大ル 鼻孔
大ニ半月形ヲ
ス

部分 眼 短シ
耳 山シ
刺 管様ニ墨色
ノ斑アル刺ヲ負ヒ
長サ七寸ヨリ尺
余ニ至ル
四肢短シ
面部腹部及四肢
茶褐色ナリ

常習

我国ニハ産セザレバ原東大陸ノ産ニシテ形状ハ甚ク多
ルベキモ其性至テ柔馴ニシテ園養スベシ食餌ハ植物及
樹皮ナレバ一種ノアツト豪猪ハ肉食ナリ此獸銳齒利
爪ノ軀ヲ衛ルベキナシ故ニ其仇敵ヲ防グニハ先ツ一方へ横
卧シ突然他方ニ轉ジ火刺ヲ以テ仇敵ヲ防グニ足ル刺毛
ハ平生ハ後方ニ曲レテ怒ル片ハ自在ニ之ヲ直立スベシ歩
スル片ハ刺毛五ニ觸レテ何々ノ声ヲナス

効用

支那ニテハ此刺ヲ以テ筆管或ハ牙杖及ヒ笄トスト云フ
印度人ハ此刺ヲ以テ各種ノ蓋蓋ヲ製セリ

第五無齒類

此類ノ徵性ハ口小クシテ大抵齒ナキニアリ數多ノ齒ヲ有ス
ルモ門齒ノナキハ皆同一ナリ且形状モ甚ク異ニシテ毛アル
モアリ甲アルモアリ鱗ヲ被ルモアリ多クハ南亞米利加ニ産
スル獸類ナリ



名稱 食蟻獸 アリクヒ

頭 小ク長シ
喙 狭ク長ク尖レ
耳 前ノ如ク小シ
眼 至テ小ナリ
鼻 頸ヨリ尾ニ至ル
全身 甚肥ニ
四肢 太ク短シ前肢三ツ
後肢二ツ 銳爪ヲ
具フ

常習

南亞米利加ニ産スル夜獸ナリ此獸ノ口ハ開カサル者
ニシテ小孔アリテ舌ヲ出スノニ常ニ深林ニ棲息シ粘液ヲ
抹シタル長舌ヲ出シ蟻塚ヲ搜索レ此舌ヲ塚中ニ挿入レ
能ク蟻ヲ甜リ取り食フ腔ノトキハ尾ヲ以テ全身ヲ覆
上且雨ヲ防ク用ニ供スヨク樹ニ攀登スレバ行步甚ク
遲緩ナリ性馴養シ易シ又ヨク飢餓ニ堪フ此獸他ヲ
襲ヒ又ハ危害ヲナサズト虫若レ之ヲ惱マセルコトア
レハ強ク以テ仇敵ヲ相殺スト云フ

尾 太クシテ長ク至テ
毛 帶黒褐色ヲ白
斑アル
長 大ナルハ四尺ニ至ル

種類

大中小ノ三種アリ形状ハ皆相似タリ

名稱 龍鯉 センガシカウ

頭 長シ
喙 細ク尖ル
眼 圓ク大ニシテ
全身 間腹高部ヲ除
テ外皆鱗ヲ被
ル

常習

南亞米利加亞非利加東印度ニ産ス此獸鱗ニハ堅鱗ヲ
被リ且自在ニ鱗ヲ聳立シ得レ鱗ノ尖ハ甚ク堅ク之ヲ擊
テ火石ノ如ク火ヲ發ス其食餌ヨリナシ様々食蟻獸ニ同シ他
獸ニ襲ハルハ鱗ヲ聳立シ身ヲ屈縮シテ腹部ノ柔韌
ナル部分ヲ掩フテ其害ヲ避ク猛獸ト虫ト之ヲ傷クルコト
能ハス



中地鱗魚

四肢 甚ク短クシテ
三ツ 銳爪ヲ具フ
尾 長短ニ種アリ
茶褐色ナリ
長 一尺七八寸

種類

原ト穿山甲ト稱スルハ鱗ノ名ナレシ今ハ通シテ此獸ノ
名トナレリ又此獸ノ肉裏美好聞人ハ此ヲ用テ饌ニ供
スト云或説ニ我國九州ノ深山窮谷ノ中ニハ希ニ此獸
ヲ産スト云ヘモ信ズベカラズ

第六雙蹄類一名翻芻類



此類ハ一回嚙ミ下セシ食物ヲ再ヒ口ニ戻シテ更ニ嚙碎スルノ性アリ上齧ハ恰モ刼板ノ如キ形ヲナシ門齒ハ下齧ニノミアリテ草類ヲ食スルニ適當ス其足ハ皆雙蹄ヲ具フ諸獸ノ中此類最モ人益ヲナスモノナリ

名稱 駱駝 フクダ

部分
 頭 田シ
 眼 細ク眼瞼リ
 耳 後方ニ立ツ
 肉 背ニアリ高
 一尺許
 趾 趾長蹄至テ小
 足 趾趾扁平柔軟
 尾 尾毛如シ
 全 軀 頭背部長
 毛 毛アリ四肢細
 毛 坐禪ノ如キモ
 淡褐色
 長 八九尺

常習
 亞非利加及亞細亞ニ産ス昔ヨリ有名ノ家畜ナリ性順良シテ善ク重ヲ負ヒ炎熱飢渴ニ堪ルヲ以テ砂漠ノ舟ト稱シ砂漠ヲ旅スル人ノ有用ナル獸ナリ背ノ肉鞍ハ繫物ノ如クナレ此脂肉ニ由テ命ヲ維キ飢餓ヲ免ルモノナリ故ニ遠征ノ後ハ肉鞍著ヒク瘦瘠ニ養フニ美食ヲ以テスレバ暫時ニテ其舊ニ復テ云フ

種類
 肉鞍一個ノモノヲ獨峰駝ト云ヒ二個ノモノヲ双峰駝ト云フ其毛色モ善褐紫黃ノ數種アリ

効用
 長キ毛ニ種織織ルベシ 糞ハ乾カレテ煤ニ代スレ

附說
 昔一暴客アリ駝ヲ御スルヲ甚ダ虐ナリ駝怒ヲ忍ビテ更ラ深夜ノ寐ルヲ俟テ奔テ主ノ榻ニ就テ其衣ヲ啣シ適暴客他出ニテ其害ヲ免カル聖且駝主ノ帰ルヲ見テ計ノ就ラザルヲ知リ遠ニ氣ヲ作メ死スト云フ



名稱 麋 鹿

部分
 頭 長
 喙 細ク尖リ上齧ヨリ
 二 牙 口外ニ出ツ鼻
 孔 大ナリ
 大 二ニテ銳シ
 大 二ニテ立ス
 四 肢 瘦シテ長ク
 双 蹄 大ナル
 長 ク 茶褐色
 三 尺 許リ

常習
 亞細亞洲及ヒ北海道ニ産ス其形鹿ノ如ク陰部ノ辺ニ一膜囊アリ形山クシテ大サ鳩卵ノ如ク内ニ有名ナル麋香ヲ充ツ凡ソ麋類ハ其大サ終カニ野兔ニ過ギズ真ノ麋ハ中央亞細亞ニ産レテ壯ニハ小囊アリ足ニハ後ニ趾ヲ附加ス毛ハ強硬ニシテ直立シ較シテ似タリト云フ上欄ノ分部ハ北海道産ノモノナリ

効用
 麋香ハ支那勃島丹ノ産ヲ上品トシ榜葛刺産之ニ次キ魯亞亞ノ産ヲ下品トス



名稱 麒麟

部分
 頭 小ク長クシテテノ肉
 角 アリ
 長 二似テ狹シ
 眼 ヲク前後ヲ瞻ヒシ
 長 ク 立ツ
 長 ク 赤褐色ノ鬣
 項 アリ
 四 趾 細ク長クシテ
 双 蹄 アリ
 長 ク シテ 端ニ流線
 状 アリ
 毛 全身灰白ニシテ黒
 褐色ノ斑点アリ

常習
 亞非利加ノ内地ニ多ク産ス其大サ象ニ次ク此獸ハ項甚タ長キ故前肢ハ後肢ヨリニ倍許リ長ク見ユ食餌ハ樹木ノ枝持ニ莢豆類ノ枝ナレモ地上ニアル食物ヲ採ルコトハ甚ダ困難ナリ其疾走スル様ハ長頸ヲ前後ニ振リテ最モ可笑シキ形狀ナリト云フ此獸ノ仇敵ヲ防クニハ其蹄ヲ以テ之ヲ蹴ルノ一技アルノミ然レモ迅速ニシテ獅子ノ如キ猛獸モ亦其一蹴ヲ畏ルト云フ性ハ怯ニシテ驚駭レ易シ之ヲ養養スレバ人ニ馴ルハ下麋鹿ノ如シ



名稱 鹿

頭 長シ
細ク尖上鬃ニ齒
ナシ
ヤ、長シ
口ヲシテ褐色ナリ
枝アル角ニ個ノ戴
瘦セテ長ク及蹄ナ
リ
甚短シ
毛 猪赤色ニ小
斑アリ
尾 長
四肢 長
四尺余

名稱 馴鹿

頭 長シ
狭クシテ尖リ門齒
細クニシテ上鬃ニ
ハ枚アリ
口カラス
ヤ、長シ
二個ナレバ水ヲ前
後ニ分テ齧數枝ヲ
分ツヲ以テ四ケノ如
ク見ユ
硬セテ長シ
尾 短
毛 灰褐色
四肢 長
六尺許



名稱 カモシカ

頭 長シ
細ク尖ル
ヤ、大テ立ツ
口カラス
本木クホホリヤ、
脊リ本ニ數節アリ
堅ニ鞣アリ長サ三
四寸
瘦セテ長シ
至テ短シ
毛 蒼黑色
尾 長
四肢 長
三尺ヨ高サニ尺
余



名稱 山羊

頭 長シ
細ク尖上鬃ニ齒
アリ
ヤ、長ク立ツ
小シ
本木クシテ末脊
彎曲シテ數節アリ
四肢 瘦セテ及蹄
ナリ
毛 短カレ
帶黒灰褐色
尾 長
四肢 長
三尺ヨ



常習

諸國ノ山野ニ棲大和ノ奈良安藝ノ宮島ニテモ人ニ馴レテ
家畜ノ如ク壯ハ形大ニ角アルニ上鬃ナシ北ハ形小ニシテ斑
ヲ黄赤色ニ白毛雜リ角ナクシテ上齒アリ又山中ニ棲モハ躑躅
ニテ白班鮮明ナリ肆中ノ居ルモノハ躑躅肥大テ黄白鮮ナラズ角ハ
年々夏至ニ至テ脱落テ又新角ヲ生ス老大ナルモノハ枝又多シ
麋、麝、麝、麝等アリ
皮ハ赤色ヲ与テ各種ノ用ニ供シ角ハ彫刻ノ材トナシ又膠及ヒ角粉
ヲ製ス肉ハ味美ナレバ一種ノ惡臭アリ
此獸秋末至尾ノ期ニ至レバ牡鳴ラ北ヲ呼ブ其声閑靜ナルヲ
以テ古來雅人ノ為メニ賞セラル又南都東大寺ノ宝物ニ十六
枝ノ鹿角アリト云フ

種類

附說

常習

効用

亞細亞亞米利加歐羅巴ノ北辺及ヒ北海道ニ産
ス鹿ノ類ナレモ大ニ異ナル所アリ形ハ鹿ヨリ
大ニシテ北壯トモニ角アリ門齒モ上鬃ニノミ
アリ角ノ毎年脱落スルハ鹿ニ同シ性柔順ニシ
テ植物ノ莖葉及ヒ藓苔類ヲ食フ此獸寒湿ニ堪
ユルガ故ニ寒帯ノ土人ニハ家畜ニシテ甚ダ要
用ナリ
氷雪ノ上ニ極テ牽カシム

常習

効用

附說

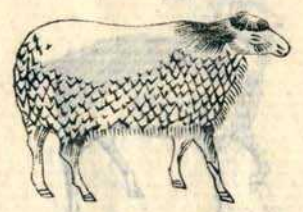
信州木曾野州日北江州伊吹等ノ諸州深山ニ産ス形頗ル
羊ニ似テ大ナリ以テ角駢生ニ全身ノ毛黒褐或ハ灰褐色柔軟且
密ニシテ深キヲ以テ座褥トシテ温暖最佳ナリ此獸高山ヲ
好ミ常ニ山崖ノ間ニ棲息ス其力弱ク屢ノ狩ヲ害ニ遭フ故
ニ聖達セラルハ、ハ忽然飛躍ニテ危嶽峻阪ニ攀チ能ク
其難ヲ避クルト云フ
皮ハ坐褥トスベシ角ハ中空ナル故山人之ヲ墜子トナス
肉味猪鹿ニ似テ食フニ堪ヘリ
此獸ノ毛皮最モ褥ニ適スルヲ以テ昔時ヨリ之ヲ賞レ遂ニ
三ノ又ハカモヲ以テ獸名トス三ノハ即チ褥ノ異音ニシテ
カモハ即チ種ノ義ナリ

常習

種類

附說

原ト我国ニ産セザリシガ往年ヨリ舶來セリ山
地又ハ小木ノ叢生セル地ヲ最モ適常ノ棲処ト
ス形ハ羊ニ似テ性ハ羊ヨリ強ク人ニ馴レ易シ
壯ニハ鬚アレバ北ニハナシ此獸躑ヨリ非常ノ
熱ヲ發ス故ニ大風暴雨ヲモ恐ル、トナレ好テ
小樹ノ芽嫩木ノ皮ヲ食フ
アンゴラ山羊ハ毛細密ニシテ長シ
毛ハ羊ヨリ劣レリト雖凡乳ハ滋養ノ効多ク又
乳餅ニ製スヘシ



名稱 羊 ヒツシ

部分
 頭 長シ
 喙 小シテ長シ
 耳 ヤ、大ニテ垂ル
 眼 小シ
 角 彎曲シテ螺旋狀
 尾 ナス
 毛 短シ
 尾 細シ
 長 白色又黒色雜
 斑等ナリ
 三尺許

常習
 支那ニテハ畜テ食用ニ供ス我國ニモ往時ヨリ
 畜フ処アリ牡ニハ角アリ牝ニハナシ偶角アル
 種アレバ甚タ少シ性柔順ニシテ喜テ糞ヲ食フ質亦
 柔弱ナリ故ニ牧羊者宜シク保護ニ注意スベシト云フ
 此獸ハ何レノ地ヘモ移スヘシト或レ土地ノ異ナルニ從
 ヒ毛状毛色等ヲ異ニシ角モ其數ヲ増シ數個ヲ生ヌ
 又蒙古種ハ強壯ナルヲ以テ三千頭ノ羊モ二三名ニテ
 管理シ得ベシト云フ

種類
 綿羊 山羊 羊等アリ

効用
 肉ハ食用ニ供シ皮ハ紙ニ代用スベシ
 山羊ノ毛ハ最上ノ筆ヲ製スヘシ
 綿羊ノ毛ハ前カリテ織物トス



名稱 ウシ

部分
 頭 長クシテ額平カナ
 喙 短クシテ前齒
 耳 ナレ喉下ニ餘肉アリ
 馬耳ノ如シ
 角 柔和ナリ
 眼 屈曲シテ小ナリ
 尾 屈曲シテ長カラズ
 尾 細ク長ク端ニ長毛
 淡黒色
 三尺許 高四尺許

常習
 諸國ニ多ク牧ス就中三丹及ビ南部産ヲ上トス
 家畜中最モ有用ノモノナリ性柔和ニシテ力強
 ク能ク重キヲ負ヒ車ヲ牽キ耕耘ノ助ケヲナス
 又車駕ヲ牽カシムルモノアリ耕牛トイフ此獸
 他ヨリ襲ハレ又怒ルルハ角ヲ振テ仇敵ニ觸ル
 ト云フ

種類
 洋牛 中種類多シ

効用
 耕耘ノ用ニ供ス
 乳ヲ搾リ乳油及ヒ乳餅ヲ製スベシ
 肉ハ肉食中第一等ニシテ皮角蹄皆用アリテ最
 モ利益ヲナス



名稱 水牛 スギキウ

部分
 頭 長シ
 喙 短クシテ方ナリ
 耳 ヤ、大ニテ左右ニ
 出ツ
 角 小シ
 眼 稜アリテ扁ク甚
 長大ナリ
 四肢 短クシテ蹄
 四趾
 尾 長ク如シ
 毛 灰蒼色
 三尺許 高四尺許

常習
 亞非利加及ヒ印旆諸國ニ産ス其種類一ナラズ尋常、
 牛ヨリモ肥大ニシテ野鄙ナリ全身疎毛ヨリ性水ニ入ラ
 好ム常ニ頭ヲ地ニ垂ル印度ニテハ水牛ノ耕地ヲ傷害ス
 ルヲ往々之アリト云フ希臘伊太利ニテハ尋常ノ牛ニ
 代フテ畜養ス此獸ハ尋常ノ牛ニ比スレバ頗ル強壯ナリ
 其牝ハ乳汁ヲ生スルヲ甚タ多シ然レバ善良ノモノニ非ズ

効用
 角ニテ器物ヲ製ス
 璣瑁ヲ製造ス

附説
 此水牛ト云フハ西牛ノ音轉ニシテ西瓜ヲ水瓜ト云フ如シ
 ト云フ又俗ニ水牛ト云フ半透明ノ器ハ多クハ他種ノ牛
 角ハ馬牛ノ蹄甲ナリ

第七單蹄類



此類ハ唯馬驢ノ一族アルノミニシテ其形狀常習
 殆ト馬ニ異ナラズ足ニモ均シク單一ノ蹄ヲ具ヘ
 性質銳敏行走捷疾ナレハ乘駕ノ用ニ供スベシ



名稱 馬 ヲウマ ミノケモノ

部分

頭 長シ
太クシテ方ナリ
高ハ前齒ノミナリ
削前ノ如シ
眼 ヤシ長シ
肢 蹄長クシテ單
鬣 長クシテ頭面ヲ
尾 長クシテ毛尾ナ
長 一様ナラマ
六尺許

常習

諸州ヨリ産スレモ南部仙臺等ニ産スルモノヲ
上トス騎乘牽駄ニ用テ最上ノ家畜ナルハ
衆人ノ知ル所ナリ性勇豪穩當且穎悟ニシテ順
從ナリ往々人ノ為メニ盡力勞動シ重荷ヲ擔フ
テ死ダモ辞セザルヨリ此獸ハ畜ヲ以テ其年
齡ヲ知ルベシ
土州産クモノハ形小ニシテ力強シ果下馬是ナ
リ並刺伯種ハ形大ニシテ強健馬中ノ尤物ナリ
耕耘ノ用ヲナシ大益ナリ
騎乘牽駄ノ役ニ服ス

種類

我目ニ産セズ支那嶺ノ蒙古産ヲ良種トス形馬
ヨリ小ク全林灰色ニシテ肩ヨリ前兩肢ト脊上
ヨリ尾ニ至ルノ黒條アルヲ純驢ノ徵トス性愚
鈍ナレトモ足殊ニ健ニシテ負擔ノ用ヲナシ嶮
路ヲ登降スルニ適シ病ニ感スルコト少ク且順柔
ナルヲ以テ蹴踏ノ害ナレ婦女子ト魚疋使役シ
易シヨク粗食ヲ堪ス之ヲ養フテ費寡トシ魚疋
飲水ノ清淨ヲ撰テハ奇ト謂フベシ

効用

壯驢ト牝馬トノ間ニ生セシ者ヲ騾トシ牝驢ト
壯馬ノ間ニ生スルヲ馱駝トス
負荷ノ用ヲナク
農家ニ畜テ益アリ



名稱 驢 ウナギウマ

部分

頭 長ク額高シ
細クシテ方ナリ
鼻孔大ナリ
耳 甚長シ
眼 ヤシ長シ
肢 細ク短シ
鬣 短クシテ立ツ
尾 牛尾ノ如クニテ
毛 未ニ長毛アリ
全林灰色
長 五尺許

常習

南亞非利カノ産ニシテ野注ノ馬爲ナリ大ク七
抵驢ノ如シ形状雅麗ニシテ實ニ動物中ノ最美
ト稱スベシ毛色ハ虎ノ如キ甚ダ美麗ナル斑紋
アルヲ以テ有名ナリ性猛暴頑固ニシテ馴養シ
難シ故ニ諸用ニ使役スルコト能ハス

効用

一種文馬ハ性甚ク温順ニシテ喜望峰ニテハ之
ヲ馴養シテ使用スト云フ

名稱 斑驢 トマウマ

部分

頭 長シ
細クシテ方ナリ
耳 甚長シ
眼 ヤシ長シ
肢 細ク短シ
鬣 短クシテ立ツ
尾 牛尾ノ如クニテ
毛 未ニ長毛アリ
全林灰色
長 五尺許

常習

一種文馬ハ性甚ク温順ニシテ喜望峰ニテハ之
ヲ馴養シテ使用スト云フ

種類

一種文馬ハ性甚ク温順ニシテ喜望峰ニテハ之
ヲ馴養シテ使用スト云フ

名稱

第八多蹄獸一名厚皮獸

此類ハ形體肥大ニシテ其觀野部ニ屬スルモノ多
シト云ヘ氏其中大抵ハ馴養スベキ者ナリ





名稱 野猪 兎ウリボウ

部分

頭 長 兎リ上唇上細く
鼻孔ヲ具ス
上齧テ形ニニ牙
アリ上ニテ口外ニ
出テ
屹立ス
小ナリ
甚ク短シ
細クシテ短シ
甚ク短シ
全軀褐黒色
長毛 四尺許

名稱 豚 イブタ

部分

頭 長シ
兎リ上唇上及ヒ
ニニ鼻孔アリ
齒銳利ナリ
屹立ス
小シ
甚ク短シ
細クシテ短シ
細クシテ短シ
蒼色黒白色等
長毛 四尺ヨ



常習

諸国山林ニ多シ春夏夜中村里ニ出テ蚯蚓ヲ掘
食フ故田圃ノ害ヲナス又竹筴松茸ヲ害ム上下
齧テ四牙アレバ牝牝ハ上齧ニ牙ヲ缺ク怒ルル
ハ背上一毛逆立ス之ヲ怒毛ト云フ年々ニ樹ヲ
ルモノハ大ニシ牛ノ如シ甚シキハ背上一樹ヲ
生セシモノアリ此獸冬間ニハ深山ニ入り大坑
ヲ穿テ木枝茅蓋ヲ藉キ其内ニ蟄ス又粘土或ハ
木脂ヲ身ニ摩リ傳テ之ヲ堅固ニス

効用

肉味甘美ナリ
膽ハ能ク熊膽ヲ擬造ス
脊上ノ刺毛モ用ヲナセリ

常習

山ニ自生スルヲ野猪ト云ヒ家ニ畜フヲ家猪ト
云フ原來野猪ヨリ出テクルモノナリ形肥大ニ
シテ牙ハ口外ニ見ハレバ此獸ハ蕃殖シ易クシ
テ性春愚ナリ食餌ハ汚穢腐敗ノモノト雖モ食
ハザルモノナシ

効用

腿肉ヲ以テ製スルモノ之ヲ火腿ト云フ
脂血腸ヲ用ナルニモ調理法アリテ食餌トハベ



名稱 象 イナ

部分

頭 田ウシテ大ナリ
甚ク長ク多端ニ小
指アリ
長ク太ク毎
甚ク小シ
上ニ齧ヨリ下ニ向長
大ナル牙ニ同アリ
甚ク短シ
穩重ニ蹄ニ五趾
アリ
甚ク短小ナリ
黒白蒼灰色等
長毛 一丈許

名稱 犀 サイ

部分

頭 長シ
尖リ上唇長ク下唇
短ク鼻孔大ナリ
長クシテ腦ノ如シ
小ナリテ腦ノ如シ
鼻ニニアリ長キモ
三尺ニ至ル
太クシテ短ク末ニ
蹄アリ
皮ニ毛ヲ頸背腰
厚ク發積アリテ
頭脚ノ運動便
長 一丈 高五六尺



常習

二種アリ一ハ亞細亞ニ産シ一ハ亞非利加ニ産
ス陸生獸中ノ最大ナルモノニシテ力九馬ニ勝ル常ニ群ヲ
ナシテ河邊ノ林中ニ棲ク草木ノ嫩枝根葉ヲ食フ群中ニ
王アリ數十或ハ數百ノ象皆其舉動ニ從テ喜ビテ水ヲ涉ル
皆鼻ヲ水面ニ仰ギ伸ブルヲ以テ遠望スレバ恰モ水中ノ肉
桂ノ如シト云性温和順良ニシテ猥リニ人ヲ害セズ且冷
剛ニシテ能ク人ノ好意慘刻ヲ記憶スルモノ如シ

効用

負荷ニ役スベシ 牙ハ象牙ト稱シテ人ノ之ヲ貴重ス
皮モ諸用ニ供ス
此獸ニ附テハ象主ニ忠ラ尽セシテ或ハ復讐セシテ或ハ小
兒ヲ救ヒシテ或ハ寡婦ノ談ニ感セシテ又ハ此獸ヲ殺シテ用
ナテ功アリシ等ノ記事故筆ニ暇アラズ

附説

單角双角ノ二種アリ甲ハ亞細亞ニ産シ乙ハ亞非利加ニ
産ス全軀皮厚ク毛ナクシテ粗糙暗黒色トシ知覺鈍ク
テ蚊蠅ノ刺スヲ知ラズ頸背等ノ堅厚ナル彈丸白又ヲ防ク
足ル此獸ハ力非常ニ強キヲ以テ性猛惡粗暴ナラマド虫
瓦怒ルトキハ其兇暴トシテ名状スベカラズ食ハ草木ノ枝
葉ニシテ殊ニ甘蔗類ヲ嗜ム

常習

皮ハ馬鞭ト作シ角ハ器ヲ作リ又藥料ニ供ス印度人ハ
此角ニ藥力アルヲ稱シ其血及ヒ尿糞モ解毒劑トシ
テ服用スト云フ

効用

皮ハ馬鞭ト作シ角ハ器ヲ作リ又藥料ニ供ス印度人ハ
此角ニ藥力アルヲ稱シ其血及ヒ尿糞モ解毒劑トシ
テ服用スト云フ

第九游水類即鯨魚類

此類ノ形状ハ甚ダ魚類ニ似タルヲ以テ古來無鱗魚中ニ列ス
 レ氏實ハ海中ニ棲ム獸ナリ胎生ニシテ哺乳スルト血液ノ温
 暖ナルト其聲アルヲ以テスルモ魚類ニ非ザルヲ証スベシ且
 ツ尾ノ如キモノモ魚尾ト異ニシテ體ノ側面ト直角ヲナス是
 レ即海鱷海豹ノ後肢ト同一ノモノナラン



名稱 スナメリ ナメウヲ

部分 頭 四レ
 喙 大ナラス
 眼 小レ
 噴口 頸上ニアリテ半
 月状ヲナス
 鰓 左右ニ個ツテ
 鼻ノルヲ魚ノ如
 左右ニ分レテ水
 平ヲナス
 尾 全身黒色腹部
 ハ灰黒色
 色 長 大ナルハ七八尺

常習

東南ノ近海ニ産ス是鯨魚類中ノ小ナルモノニ
 シテ海豚ノ類ナリ頭上ニ個ノ噴口アリテ潮ヲ
 吹キ直上ノ皮下膏油ノ層アルヲ海豚ノ如シ此
 獸ハ多クハ冬月ニ漁シ得ルト云フ

効用

肉味鯨ノ如シ
 脂多シ熱リテ燈油ヲ取ルベシ
 諸國ノ海ニ産ス身肉ク肥ハ頭上ノ噴口ヨリ潮
 水ヲ吹キ直上ノ風潮ヲ喚ニ海中ニ出洩ス常ニ
 群ヲ大先ナルモノハ大後ナルモノハ漸ク小
 ナリ一洋一池上下ニ隊ヲトシ或ハ一洋一中一
 池上中下ニ隊ヲナス是ヲ俗ニ海豚ノ宮詣ト云
 フ漁人捕ヘテ岸上ニ投スルキハ悲鳴ス

名稱 海豚 ユルカ
 ムイルカ

部分 頭 四レ
 喙 細長ニシテ上下
 二小苗連ル
 眼 小
 噴口 頭上ニアリ
 鰓 左右ニ個脊上ニ
 一個アリ
 尾 左右ニ分ル
 色 黒色
 長 六七尺

常習

諸國ノ海ニ産ス身肉ク肥ハ頭上ノ噴口ヨリ潮
 水ヲ吹キ直上ノ風潮ヲ喚ニ海中ニ出洩ス常ニ
 群ヲ大先ナルモノハ大後ナルモノハ漸ク小
 ナリ一洋一池上下ニ隊ヲトシ或ハ一洋一中一
 池上中下ニ隊ヲナス是ヲ俗ニ海豚ノ宮詣ト云
 フ漁人捕ヘテ岸上ニ投スルキハ悲鳴ス

種類

ネズミイルカハインドウエルカ入道ユルカスデ
 イルカマイルカ等アリ
 肉ハ赤色ニシテ味美ナラス
 膏油ヲ煎シテ燈油トナスベシ

名稱 サカマタ シヤチ
 タカマツ

部分 頭 四レ
 喙 口内上下ニ連齒
 眼 其ノ小ナリ
 鰓 背脊直上ニ倒
 鰓ノ如シ
 尾 左右ニ分レテ大
 ナリ
 色 全身黒色
 長 二丈許

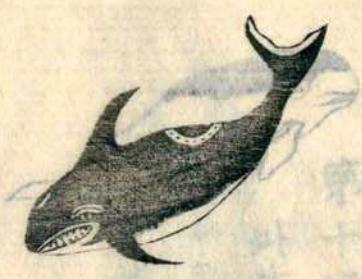
常習

西南海ニ棲ム海獸ナリ性強暴貪食ニシテ好テ章魚ヲ食フ
 其兇ナラ愛ムルヲ甚ク懇切ニシテ常ニ深海ニ棲息ス同類トハ鬪
 フナスヲナレトシテハ群ヲナレテ海及シ海豚ヲ襲フヲアト云
 齒白質堅實ナルヲ以テ假齒ニ作ルベシ
 肉味宜シカラズト虫毛多油ヲ製スベシ
 和漢牙圍論ニ云々世相傳フ鯨ノ鱗及シ小魚ヲ食フニシテ大鯨
 食ナルハ約束アルヲ以テナリ魚虎毎ニ鯨ノ口傍ニ在リテ守ル
 若シ大魚ヲ食ハバ則チテナリ口ノメリ鯨ノ舌根齒肉故鯨ノ舌長ハト
 有名ナル名古牟城太守金繡慶長年間加藤清正造所ニシテ
 高サ八寸アリ呈上ニ鯨尾ヲ置キ火炎ヲ厭勝スハ漢武帝相承
 臺ニ始ト云フ鵝尾ハ和名多ク々々鱗ハ俗字ニテ下字集ニシテ見
 分リ魚虎ハコヤチニアラス啟蒙ニシテシボトアリ

効用

附說

和漢牙圍論ニ云々世相傳フ鯨ノ鱗及シ小魚ヲ食フニシテ大鯨
 食ナルハ約束アルヲ以テナリ魚虎毎ニ鯨ノ口傍ニ在リテ守ル
 若シ大魚ヲ食ハバ則チテナリ口ノメリ鯨ノ舌根齒肉故鯨ノ舌長ハト
 有名ナル名古牟城太守金繡慶長年間加藤清正造所ニシテ
 高サ八寸アリ呈上ニ鯨尾ヲ置キ火炎ヲ厭勝スハ漢武帝相承
 臺ニ始ト云フ鵝尾ハ和名多ク々々鱗ハ俗字ニテ下字集ニシテ見
 分リ魚虎ハコヤチニアラス啟蒙ニシテシボトアリ





名稱 壺魚 マッコクダラ

部分

頭 四垣ナリ
上喉甚々大ニシテ
下喉小ナリ齒ノ
大ヤ小牛角ノ如
甚小ナリ
左右ノ鰭ハ長
ク背鰭甚々短
鰭ノ如シ
灰黒帯微赤色
尾 長
三丈乃至六丈

常習

南海ニハ多ク棲ム北海ニハナシ此獸人ニハ
貴重セラレレ海魚中ニハ有害ノモノナリ太
平洋中ニハ一處ニ二百頭モ群集スルヲ往々ア
リ獵鯨船ヲ以テ此群ヲ囊フヤハ十頭或ハ十二
頭ヲ獲ルヲアリト云フ一種大頭壺魚ハ沙魚海
豚等ヲ容易ニ餌食スルモノナリ此獸腸内ニハ
琥珀質アリ腦ニハ龍涎香ト名クル白脂ヲ有セ

効用

齒ハ器或ハ假齒トスベシ
油及ビ龍涎香ヲ製スベシ

名稱 一角 ウニール

部分

頭 四ノ
上喉上下喉ヨリ前
五出ス
小ナリ
上齒ヨリ二本ヲ生
ズ其長クニニ倍ク
シテ無キガ如シ
鰭上ニアリ
前鰭ノミシテ魚
鰭ノ如シ
左右ニ分レ中間ニ
一小肢アリ
尾 黒色若タル者ハ
白也

常習

北氷海ニ棲ム海獸ニシテ南方ニ出ルヲ稀ナク
類上ニ半月状ノ孔アリ内ニ噴口二個アリ口内
ニ齒ナクシテ尺ニ本ノ門齒アルノミ一ハ長サ
八尺乃至一丈ニシテ一ハ更ニ生長セズ此長齒
ハ白質象牙ノ如ク外而ニハ螺旋狀ノ條理アリ
蓋シ是壯獸ナリト云フ食餌ハ鳥賊及海魚ナリ
此獸ハ其長牙ヲ以テ自己ノ餌食ス可キ物ヲ囊
ヒ或ハ鯨魚ヲ屠殺スルヲ往々アリ其牙形ノ角
ニ似タルヲ以テ占米之ヲ一角魚或ハ一角獸ト曰
フト云フ

効用

往時ハ此牙ヲ以テ至良ノ解毒藥トナセリ



名稱 鯨魚 セミクダラ

部分

頭 長シ
大ニテ齒ナシ
眼 極小シ
耳 輪郭ナシ
噴口 頭上ニアリ
鬚 上鬚 鬚毛アリ
其數三百余
前鰭 二個アル
尾 大ニテ左右ニ分
色 黒色ニシテ腹白シ
長 六丈七丈

常習

海中ニ棲息スル大獸ニシテ肥前平戸五島等ニテ多ク之ヲ
獵ス鯨類中ノ長シ等トス口内ニ重疊スル鯨鬚如シ
故ニ微細ナル海中動物ヲ除ク外ハ一小魚モ決レテ吞ムコト
能ハズ此獸ハ水中ニ在リテ半時ヲ經過スルヲ得ルト魚尺
大概ハ八分時又ハ十分時毎ニ水上ニテ呼吸シロヨリ吸入
シテ水ヲ鼻孔ヨリ噴出ス此鯨ハ一子ヲ産ス其兒子ヲ愛ス
ル情甚ダ深シ

種類

ザトウ、ナガス、イハシクダラ、コクダラ等アリ

効用

肉ハ食フニ脂ハ燈油トスレ又寒地ノ人ニ常ニ之ヲ飲
筋ハ弓絃ニ造ルベシ 鬚ハ細工ニ用サテ之ヲ鯨細工ト云フコク
ダラノ鬚ハ白シ之ヲ白鬚ト云フ最モ之ヲ貴重ス

第十袋獸類



此類ハ亞米利加及澳大利亞ニ産ス嚙齒類ニ似タ
レ其皆此獸ノ腹外ニ袋囊アリ産兒ノ後久シク袋裏ニ
テ哺育スルモノナリ



名稱 袋鼠 即チ 囊鼠

頭 長シ
 喙 細ク尖
 眼 田カク
 耳 長クナリ
 肢 前後短ク後肢生
 袋 腹外ニテアリ
 尾 太ク長クテ強ク
 毛 短キニテ淡褐
 長 四尺余

此獸ハ袋鼠中ノ最大ナルモノニテ澳大利亞ニ産ス推見
 ハ極テ小弱ニシテ母獸ノ袋中ニテアリ乳房ニ附着スルノ
 ミ袋中ニテハハ月ニシテ時々頭ヲ出シテ四顧ス漸ク長
 シ自ラ食餌ヲ求ムルキモ些少ノ警ヲ聞ケバ直ニ母ノ袋
 中ニ匿ル食餌ハ植物ニシテ前脚ニテ草木ヲ拔キ食フ足
 ニ四指アリ中指大ニシテ強ク蹄、如キルヲ具フ獵犬之カ
 為メ害ヲ受ケルト多シ尾ハ身ノ長クシク且強クナリ
 テ身ノ動作 從ヒ適宜ニ振盪シテ其平均ヲ取レリ性怯弱
 ニシテ獵ハ一見ヒ後脚ト尾ニテ救テ飛越ス

種類ハ袋鼠食袋鼠 袋鼠等此類ナリ
 効用ハ肉ハ貴ク骨モニメ類ハ鹿肉ニ類スト云フ

第十一 鳥嘴類 一名 單肛類



此類ハ胎生動物ト卵生動物トヲ合スル如キモノニシテ現今
 澳大利亞ニ産スルニ屬ヲ見ルノミ其喙ハ鳥嘴ノ如クニシテ
 糞孔一個アルノミ獸類中最モ奇ナル者ナリ

名稱 鴨嘴獸 カモノハシ

頭 鴨嘴ノ如シ
 喙 其小ナリ
 眼 四肢極テ短クシテ
 肢 五指アリ指間ニ
 膜ヲ具フ
 尾 太クシテ短カシ
 全射 水類ニ似タリ
 毛 密キテ海狸ノ
 如シ
 長 嘴ノ尾端マデ
 一尺一二寸

豪州ニ産スル奇獸ニシテ常ニ水邊ニ棲息ス足
 ニ蹠アルヲ以テ善ク水ニ游泳シ小蝦及ヒ各種
 ノ小蟲ヲ食フ又巧ニ穴ヲ穿チ時トシテ長ク五
 十尺余ノ穴ヲ穿チ其端ニ枯柴等ヲ積ミ巢トナ
 シテ子ヲ養フ蹠爪伸縮自在ニシテ水ヲ游グニ
 ハ蹠ヲ用キ穴ヲ穿ニハ爪ヲ用キルナリ其嘴ニ
 テ食餌ヲ搜索スル形状恰モ鴨ニ異ナラズ

附説

此獸異形ニシテ恰モ人工ニ出ツル如キヲ以テ
 其始ラ歐洲ニ舶来スルマ動物学者モ其天造ニ
 非サルヲ疑ヒ程ナリト云フ

有脊動物第二

鳥類



鳥類ハ哺乳動物ニ次キ動物中ノ高尚ナル者ナリ其ノ哺乳動物ト異ナル所ハ彼
 ハ胎生ニシテ此ハ卵生ナリ又下部ニ唯糞孔一個アルノミ四肢ハ前後大ニ其形ヲ
 異ニス前肢ハ即チ羽翼ニシテ後肢ハ四個乃至二個ノ指ヲ具フルニ脚ナリ鳥
 類ノ血液ハ赤色温暖ニシテ循環殊ニ速カナリ又空氣ヲ容ル、所ハ唯肺
 臟ノミナラス全身ノ骨中ニ之ヲ通シ羽モ亦之ヲ含ム是空際ニ飛翔シ易キ所以ナリ

第一食肉類即チ鷲鳥類

此類ハ晝間食ヲ索ムルモノト夜間食ヲ索ムルモノトノ二類ニ分ツ皆
力強クシテ嘴ハ質強ク形屈曲シ其端甚ダ鋭利ナリ故ニ肉ヲ裂キ食
フニ適セリ脚モ強健ニシテ前二三ケ後三ケ合セテ四指ヲ有ス指長ク
シテ強ク爪モ亦屈曲シテ鋭利ナリ食餌ハ動物及ヒ死肉等ナリ

青脊鷹



名稱 鷹タカ

部分
頭 平田ナリ
嘴 鈎曲シテ利シ
眼 凹クシテ鋭シ
翼 剛勁ナリ
脚 カアリ小曲リテ鋭シ
尾 十二枚アリ能ク合
ト未田クシテ黑白
重クアリ
羽色 就鳥ニ類ス
長 一尺五六寸ヨリ二尺
余ニ至ル

晝間食ヲ索ムル部ニシテ雌ハ小ナリ松前南部津輕
等ニ多ク産ス毎歲夏末ヨリ毛漸ク脱シ冬ニ至リ新毛再ニ生
ス此鳥雌雄相棲ス外群居スルヲシテ性勇猛ニシテ諸鳥ヲ
搏チ其肉ヲ食フ殊ニ雌ハ大ニシテ貪食ナルヲ以テ鳥ヲ捕シ
ムルニ多ク用ユ
種類 白鷹 鷲 角鷹 等ナリ
効用 田獵ニ用テ諸鳥ヲ捕ヘシムベシ
神功皇后摂政四十七年百濟始メテ鷹ヲ貢ス仁德
帝四十二年依網阿頭古鷹ヲ獻ス百濟ノ酒君ニ之ヲ養
ハシム幾ナラズ能ク馴ル天皇百古野ニ幸シ遊獵シ多ク雉
ヲ得給フ是本朝鷹狩ノ始ナリト云フ



名稱 鷲トビ

部分
頭 平田ナリ
嘴 彎曲ス
眼 凹シ
翼 鷹鳥ニ類ス
脚 爪鈎曲シテ利シ
尾 扇ヲ披ク如ク
羽毛 萎劣トシテ赤
黄ニ
長 鷹ヨリ稍小シ

各地ニ産ス亦昼間ノ鳥ナリ天氣晴朗ナレバ能
翔長鳴ニ鳥ヲ雲辺ニ入ル性貪惡毎ニ雜糲猫子
等ヲ捉ヘ或ハ人ノ携フル所ノ魚物油燻ヲ攫
去ルコトアリ食飽ク片ハ屋上ニ眠リ其鳴ク声
ヒイヨリトト白ク如ク此鳥ハ田圃ヲ害シ菓實
等ヲ傷クコトナシト云フ
腐死敗肉ヲ攫ミ去リ街上ヲシテ清淨ナラシム
往時ハ此尾羽ヲ箭羽トナシ之ヲ磯鷲ノ羽ニ擬
ヘシト云フ



名稱 就鷲ワシ

部分
頭 平田ナリ
嘴 鈎曲シテ大ナリ
眼 逆タテ甚ダ鋭シ
翼 短ク剛勁ナリ
脚 爪銳利ナリ
尾 大鳥ハ十三枚以上
小鳥ハ十二枚以下
羽毛 背翅黒色ニシテ
白斑アリ腹白色
整ニ黒色アリ
長 六七尺

深山ニ棲ム羽族中ノ最モ強悍ナルモノニシテ飛翔迅速ナリ
餌食スベキ動物ニ逢ハバ忽チ之ヲ追逐シ爪ヲ以テ之ヲ攫殺シ又
之ヲ數度ニ抓裂ス此鳥ハ大ナル者ニモテハ村里ニテ偶 嬰兒ヲ
攫フコトアリト云フ
帝鷹ハ白頸鷲鳥海鷲金色就鷲等數多アリ
羽ヲ以テ相箭ヲ造ルベシ
注時ハ尾羽ヲ以テ箭羽トシテ貴重セリ
昔者其國ノ海辺ニ數婦子ヲ負テ逍遙セシコトアリ時ニ猿
アリ大蚌ヲ爲メ其脱ラ合ニ周章スルヲ見止婦之ヲ擿シ大
蚌ヲ放テ猴ヲ救ヘリ猴其思ニ感セシヤ忽チ其婦ニ推覺地
ト走テ山ニハレリ婦大ニ驚キ悲泣シテ之ヲ逐フ猴亦ニ登リ大
枝ヲ搦テ其兒ヲ啼クヲ聞テ遂ニ水ヲ持テ還ニ數羽ヲ彈殺テ
兒ヲ供セテ之ヲ婦ニ歸シ其恩ヲ謝セシト云フ因ニヨリテ此附ス



名稱 鷲
ミサゴ
ウラダカ
ミレーゴ

頭 平田ナリ
嘴 湾曲ス
眼 深目ニシテ鷲ニ類ス
翼 長シクニ似タリ
脚 鷹ヨリ小ナリ
尾 上黄色
羽毛 鷹ヨリ小ナリ

常習

水辺ニ多シ好テ高翔ル声鷲ニ似タリ高ク水上ヲ旋飛スルトキ魚鷹テ水面ニ浮ベハ空際ヨリ前ノ如ク下リテ之ヲ攫振ス此鳥好テ食餌ヲ著ヘ深山ノ岩陰魚ヲ疊積ス人此魚ヲ取ルニ積ミ先上魚ノ腹ニ再ニ來リ蓋々其下ニ魚ヲ取レ續々魚ヲ含ミ來リ著テ又樹枝ノ繁リタル所ヘ此柴杯ヲ薦ガ魚ヲ著テコトアリ之ヲ俗ニ言フ云々ト云テ此敵ハ能ク久シキニ堪テ故ニ人ノ賞ス延元元年五月ノ後ニ尊氏ノ兵艦兵庫ニ至ル官軍ニ二騎アリ号ヲ吹ミ岸ニ立テ呼テ白ク將軍要入請フ一物ヲ進メ置酒ヲ佐ケント筈前ヲ注ガテ俟ツ適鷲アリ魚ヲ攫テ奉ル乃チ馳テ之ヲ射ル鷲敵船ニ墜ツ兩軍誰呼ス其名ヲ問ヘ即チ相撲人本間孫四郎貞氏ナリ

名稱 鷓鴣
ツク

頭 田クシテ大ナリ
嘴 廣ク短シ
眼 田ナリ
毛 長クシテ立ス
翼 大ニシテ長シ
脚 胎短クシテ毛アリ
尾 短シ
羽毛 黄黒斑色
長 鷓ヨリ小シ

常習

此鳥モ昼間ハ伏シ夜間食ヲ索ムルモノナリ昼六目ヲ閉ケモ物ヲ見ス恒ニ樹間ニ棲シ夜ハ甚タ明カニシテ蚤虱ヲモ拾フト云フ怒ルトキハ毛角堅立ス遠飛スル一能ハハ夜出テ小鳥ヲ振テ鳴ク声泉ニ似テ短シ二種コノハハ形小ナリ角鷓是ナリ
此鳥ヲ架頭ニ繫ギ囿トシ羅籠ヲ設クルトキハ多ク諸鳥ヲ捕ヘ得ルヲ以テ人ノ賞ス
仁徳帝ノ生給フロ木免アリ叙スレリ是日武内宿禰モ亦子日生ム鷓鴣室ニ入レリ應神帝以テ祥トナシ給ヒ帝ニ名ケテ大鷓鴣ト曰フ武内ノ子木免ト名ケ履中帝ノ朝ニ国政ヲ執リシ平群ノ木免是ナリ



名稱 鴞
フクロウ

頭 田クシテ大ナリ
嘴 短クシテ鋭シ
眼 田ナリ
翼 大
脚 黄赤毛脛ニ傳毛アリ
尾 短シ
羽毛 褐黒色褐毛
長 鷓ヨリ小シ

常習

此亦夜間鳥トナリ山ト多シ任ハ林中ニ晝リ夜ハ市井ニ出ツ目善ク聞キ目善ク夜ヲ視ル飛ハ快クシテ音トシ尋テ鼠兔ヲ捕ヘ食テ夜深テ鳴ク其声鼓鼓ノ如ク聴ク者フシテ寂寥ヲ覚ヘハ是俗ニ病者此鳥ノ声ヲ聞ケハ必ス死スト謂フ所以カ此鳥多シハ死ヲ以テ食餌スヘキ者ヲ攫テドモ稀ト云死ル動物ノ食ヲアリ
レマフク、レロフク、レウレドリアリ
此鳥ノ畜テ穀倉等ノ鼠糞ヲ除クベシ内モ美味ナリト云フ
此鳥長スバ哺育ク恩ヲ忘レ其母ヲ食フト云フ不孝ノ鳥ナリ故ニ支那ノ古代ニハ復至ニ之ヲ磔セシト云フ
漢ノ賈誼長沙王ノ大傅トナルニ年鷓アリ舎ニ入り坐隅ニ止ル賈生大ニ之忌ミ乃チ服鳥ノ賦ヲ為テ自廣ム此鳥古來人ニ忌ルル此鳥如シ

第二縁木類

此類ノ目標ハ脚ノ構造ニアリ乃チ脚ノ前後ニ各二指アリテ樹木ニ登ルニ適シ且樹枝ヲ握ルニ確カナリ食餌トスル所ハ羽蟲果實等ニレテ樹林ノ巧窩中ニ巢ノモノナリ

名稱 啄木鳥

ツツキ
ケラツキ



部分

頭 四レ
嘴 細長ク堅牢ナリ
舌 嘴ヨリ長クシテ端ニ鈍アリ
肢 指前後各二アリ
剛爪ナリ
尾 長シ強クアリ
羽毛 頭黄白赤ヲ帶テ
面紅ニテ黄ナリ俱ニ黒斑アリ背肢尾黒白横彪ヲナス
長 六寸許

名稱 杜鵑

ホトトギス



部分

頭 小ニテ黒褐色淡褐斑アリ
嘴 長クシテ堅レ短クシテ淡紅微黄指前後ニアリ
脚 細ク長シ黒色ニテ大白斑アリ
尾 頗青黒背淡青背後黒褐色胸腹淡クシテ黒横紋アリ
羽毛 鮮麗比スベヤモ
長 四寸許

名稱 鸚哥

インコ



部分

頭 四レ
嘴 大ニテ短ク上嘴下ニ曲ル
眼 四レ
脚 力強クシテ指前ニ後ニアリ
尾 稍長シ
羽毛 鮮麗比スベヤモ
長 七ハ寸

名稱 鸚鵡

アウム



部分

頭 大ニテ四レ
嘴 鸚哥ノ如シ
眼 四レ兩眼共ニ動ク
毛冠 頭上ニ脩ユ
脚 鸚哥ノ如シ
尾 長ク半開ク
羽毛 光沢アリチ色ニチラス
長 七ハ寸

常習

山林ニ棲ム種類甚ダ多シ此鳥舌鈍ノ頭鋸齒ノ如シ木ヲ啄シ穿テ舌ヲ以テ其中ノ蠹虫ヲ鉤出シ之ヲ食フ他ノ虫類ハ一切食ハズ脚力強クシテ樹ヲ走リ上ルテ至テ健ナリ食餌ヲ搜索シテ終日木ヲ啄シテ息ムコトナシ

種類

小ケラ、大ケラ、アカケラ、シロゲラ、アマガケラ、黒ゲラ、ヤマキツ、等アリ

効用

木中ノ蠹虫ヲ啄食シテ樹木ノ朽腐ヲ防ク能アリ

常習

諸国山地ニ棲ム天台、愛宕等ノ高山ニ甚ダ多シ東京ニモ多ク棲ム性怯弱ニシテ獨居、好ム小虫類ヲ食フ此鳥自ラ巢ヲ作ル能ハズ他ノ巢ニ卵ヲ産シ他鳥ヲシテ之ヲ孵育セシム梅雨、候ヨリ啼々昼夜ヲ問テ飛翔シ秋ニ至テ止ム其声木尊掛ケタカト曰ク如シ又支那ニハ不如婦ト呼フ如ク聞クト云フ

附説

杜鵑一ニ子規ト各々我國ニテハ古來之ヲ聞クヲ好ミ歌ニ咏スルコト多シ支那ニテハ之ヲ聞クヲ惡ム詩ヲ見テ知ルベシ是其声ハ一ナレヒ人情言語ノ異ナルヲ以テ好惡情ヲ動カスノ同シカラザルナラン

常習

外国産ニシテ往時ハ暹羅ヨリ來ル此鳥ハ大河ニ接スル陰暗ノ樹林中ニ群居シ或ハ綠陰ニ集合シテ互ニ頭ヲ撥キテ其愛情ヲ表スト云フ巢ハ樹林ノ朽窩中ニアリ日中ハ屢々巢中ニ退隠ス種子及果实ヲ食トス善ク之ヲ馴養スレハ人語ヲ教ヘ得ベシト云フ

種類

青インコ、猩々インコ、ベニインコ、五色インコ、ムラサキインコ、ダルマイインコ等アリ

効用

園養シテ娯樂ニ供スベシ

常習

外国産ナリ即チ鸚哥ノ一種ニシテ亞細亞ノ羣鹿加諸島及ヒ新和蘭ニ棲息ス皆浴池ヲ好ム頭上ノ美麗ナル冠毛ハ喜フハ開クコトヲ開花ト云フ恒ニ種子及ヒ草木ヲ食餌トス古ヨリ人語ヲ擬スレフ以テ有名ナリ快辨ヲ以テ教ルキハハ善ク文章ヲ話シ得ベシト云フ

種類

紫、紅、白、五色ノ種アリ五色鸚鵡尤モ慧利ナリト云フ

附説

孝徳帝大化三年新羅ヨリ孔雀鸚鵡ヲ獻ス又齊明帝ノ時某氏百濟ヨリ還テ鸚一隻ヲ獻ス

第三唱類一名雀類

此類ハ形小ニシテ聲音清亮ナルモノ多シ其種類甚多クシテ
 形状習作等多少異ナリタルモノアリ故ニ其食餌モ特種ノモノ
 ノニ限ラズ蟲類果實穀物等ナリ



名稱 燕 ツバメ
ツバメ

部分

形 小ナリ
 脊 黒
 腹 白
 頰 紫色
 尾 岐レテ長シ
 大ナ雀ノ如シ

常習

種類

附説

春社前後市中ニ来リ秋社前後南ニ去リ身軽クテ反轉上下
 ス人家ニ往來シテ窠所ヲ求ム木片ヲ棟ニ下ニ懸シ与フレ喜
 テ巢ヲ営ム巢ハ泥ヲ用テ髮毛又ハ糞心ニ和セ宛モ墨塗ノ如シ
 凡ソ一タビ巢ヲ営ミシ家ハ年々旧ニ依テ更ニ忘レズ雛ヲ育ス
 ル雌雄交、飼ヲ含ミ来リテ之ニ哺ス雛ハ巢下ニ落ルテ慮
 リ毛髮ヲ以テ其脚ヲ繫ゴ日ヲ経テ飛去ル當テ母鳥始テ
 其繫ギレ毛ヲ斷ツト云フ又櫻州六甲山ニ此鳥山中ニ穴ニ
 初春ニ天開氣暖ナレハ數万出テ飛翔スト云フ
 越燕 明燕
 一巢アリ板ノ雛皆死ス人アリ之ヲ見レバ其口中ニ麥禾松刺等
 アリ蓋シ母鳥死ニ後、母鳥ノ為ナリ其如シテ不慈ナル惡メテモ
 餘リナリ又蛇アリ其雛ヲ吞ム復ヒ来テ吞ムニ怒チ巢下ニ落
 ツ之ヲ聞スレハ一縫針アリ鋒ヲ倒ニシテ巢口ニ立テリト云フ
 智ヤ実ニ驚クベシ



名稱 蚊母鳥 カスビドリ

部分

眼 大ニシテ青黒色
 嘴 至テ小ク本ニ眞
 孔アリ
 口 赤クシテ大ナリ黒
 色ノ幼鬚アリ
 脚 赤黒色
 翼 黄赤色ニシテ斑
 点アリ
 羽毛 赤黄色ニシテ白
 斑アリ頸背背堅
 大 黒條アリ腹ハ
 黄赤黒色
 大 鳩腸ノ如シ

常習

種類

附説

此鳥ハ獨居鳥、ニシテ夜間小虫類ヲ食フ種
 類ナレ此鳥ノ鳴ク声ハグウグウト呼フ如ク聞
 外ニ夜間好テ蚊ヲ吸ヒ食フ本草綱目等ニ蚊一ニ
 外ヲ吐出スト云フハ誤リナリ亞米利加ノ奇鳥
 一チアウハハスウドウモ此鳥ノ一種ナリ
 鳥 蚊母鳥アリ樹ニ蚊母樹アリ草ニ蚤母草アリ是
 皆往時全奇聞トスル所ナリ蚤母草ハムシクサ
 小云フ小草ナリ小白花ヲ開キ後扁実ヲ結グ内
 ニ小子アリ偶、大実ヲ生ズレバ中ニ必ズ一ノ甲
 虫アリ蚊母樹ハユス又ハヒヨクノ木ト呼ブ荷
 木ナリ其果実ノ内ヨリ小羽虫飛ビ去ルト云フ



名稱 鶺鴒 ヒトリ
ヒトリ

部分

頭 小シ
 嘴 尖ル
 脚 長シ
 尾 長シ
 羽毛 全身青灰色頰
 下腹後ニ黒條アリ
 腹白ク胸ニ黄
 形 燕ニ似タリ

常習

種類

附説

此鳥毎ニ水辺ニ居リ鳴キテ其匹ヲ求ム恒ニ其
 首尾ヲ搖クス其食餌トスル所ハ小虫類ナリ能
 ク高ク飛翔シテ声ヲナスモノナリ
 黄鶺鴒 背黒鶺鴒 白鶺鴒アリ
 日本紀第二諸冊ニ神ノ時此鳥アリ飛來テ其首
 尾ヲ搖カスニ神之ヲ見メナハシ學テ交道ヲ得
 給フト見エ故ニ後世之ヲ賞シテ遂ニトツギオ
 シハガリノ鶺鴒ヲ附セリ或曰万葉集ノ稻負鳥ハ
 鶺鴒ナリト啓蒙ニ馬及雀ノ條ニ古歌ヲ引テ稻
 負セ鳥ノ名ヲ擧ゲタリ玉賀都万三ノ巻入内雀
 ノ條ニ稻負セ鳥ト云フモ此鳥ニ此入内ノコトニ
 ハアラサルニヤト云ヘリ諸説未詳



名稱 キネツミ 本州

部分 頭 紅色ヲ帶ビ周リ後
淡黒色
項 赤毛アリ
胸 淡青色
尾 黒色ニヒテ赤毛
羽毛 黄色灰文
脚 頸灰白背白
質黒章胸白
腹白黄ナリ
大 漢ヨリヤ、小ナリ

名稱 鶯 テラウセウダヒス
カラウダヒス

部分 眼 紅色ヲ帶ビ
嘴 赤ナリ
脚 灰ナリ
羽毛 全身黄色目ノ
通リ頸ヲメグリ
ノ黒ニ風切墨
ホロハ微黒雜
大 伯勞ノ如ク

常習 山中ニ棲息スル小鳥ニシテ其種類多ク皆硬強
尖鋭ナキ尾羽ヲ以テ棘ヲ支ヘ自由ニ樹幹ニ攀
登シ小虫類ヲ餌食ス其声短クシテ微ナリ毎ニ
山中ノ樹穴ヲ窺ヒテ居ル故ニ木鼠ト云フ此鳥
ノ肉未ハ佳ナラズト云フ

常習 此鳥東国ニハ来ラズ西国ニハ稀シニ来ルコト
アリト云フ立春後鳴ク鶯鶯領ノ声ヨリ大ナレ
正其美声ニハ及バズ支那朝鮮ニハ多シト云フ

附説 此鳥一名ヨ黄鳥ト云フ古ヨリウダヒスト訓ス
シドモ全ク別物ナリウダヒスハ一名春鳥ト云
フ漢名ハ紫鶯鶯ナリ

山林ニ棲息ニ能ク嗜ル性蝶姑ヲ好ミ食ノ毎秋
多ク群ヲナシ渡リ来ル種類多シ黒ツグミハ能
ク百鳥ノ聲音ヲ擬スルモノナリ

名稱 ツグミ 和名抄ニハ
鶯ト云フ

部分 頭 灰黒色
嘴 蒼色
脚 蒼色
腹 黄白色ニシテ紫
黄斑アリ
羽毛 黒シ
大 伯勞ニ似リ

附説 此鳥ヲ捕フルニハ粘撒ヲ樹枝ニ夾ミ或ハ羅ヲ林
間ニ張り絲ヲ以テ蝶姑ヲ繫ヤ竹竿ニ着テ挿レバ群鶯
集リ来ル竟ニ羅籠ニ罹ルト云フ

効用 此肉極メテ美ナリ炙煮ニテ上饌ニ供スベシ

種類 黒ツグミハ全身灰黒色黒斑アリ頭ハ純黒羽尾
トモニ黒シ頰ハ白ク嘴脚黄ナリ

名稱 紫鶯鶯 ウダヒス

部分 眼 鐵シ
嘴 細ク尖リ蒼黒色
脚 蒼黒色
尾 稍長シ
羽毛 全身黄鶯鶯色
腹 白シ
形 雀ニ似タリ

常習 和州奈良ノ産ヲ上トス信州奈良井ノ産之一次
ク冬月ハ竹籬深キ處ニ棲ミ旧巢ノ邊ニ蟄ス毎
ニ竹中ノ小虫ヲ窺ヒテ之ヲ捕ヘ食フ一林ノ中
雌雄相棲テ他ノ同類ヲ交ヘハ同類至レバ必ズ
之ヲ逐フ立春ノ前後鳴ク声清高田滑曲節ニシ
テ多ク轉ク日月星又ハ苔藤又ハ宝法華經ト曰
フ如シ鳴ク片尾ヲ搖カス季秋ニハ声ナシ

種類 人家ニ籠養シテ其声ヲ愛賞ス





名稱 コマドリ

部分
頭 蒼赤色
嘴 細く尖ル
脚 細長ク蒼シ
尾 尾長ク蒼シ
羽毛 翼尾蒼黒背
蒼赤頸頰赤
色腹下白シ
形 紫鶉鴉ニ似タ

名稱 キクイタキ

部分
頂 黄色菊花ノ如キ
嘴 灰白色
背 青緑色
肩 黒斑アリ
脚 灰黒色
翼 共ニ黒シ
腹 白ク腰黄ナリ
形 極テ小ナリ

常習
和州葛城洞籠川山中ニ多ク棲ム其他勢州城州
振州作州等ニ産ス春夏ノ際最多ク轉ス其声高
ク清フニテ長シ必加羅加羅ト曰フ如シ恰モ走
馬ノ戀ヲ鳴スニ似タリ又其頭ヲ毎ニ左右ニ振
ルモ亦走馬ノ形勢アリ故ニ駒ノ名アリト云フ
籠養スルニ脚弱クシテ損易シ性寒ヲ畏ル音
ニ難シ

種類
鳥助鳥アリ

効用
人家ニ養フテ其声音ヲ愛賞ス

常習
此鳥ハ鳥類中ノ小ナルモノニシテ樅樹ノ森林
及園場ハ最モ其愛スル所ナリ恒ニ小虫類ヲ食
ト好テ杉実ヲ食フ其聲ハ短小ニシテ豆伊豆伊
ト曰フ如シ性寒ヲ怕ル音ニ難シ秋未渡リ来ル
鳥ナリ其巢ハ美麗堅固ニシテ塵拂状ヲナス松
ノ端ニ構フ内部ハ柔軟ニシテ絨毛ノ如キモ
ノヲ被ヒ床ハ美麗ニシテ軟和ナリト云フ



名稱 鷓鴣

部分
嘴 利錐ノ如シ
翼 稍長シ
脚 黒アリテ微赤色
尾 ヲ長シ
羽毛 全身灰赤色
形 雀ニ似テ小シ

名稱 伯勞

部分
頭 大ナリ
嘴 未申テ細長ク至
テ鋭シ
眼 淡黒色田大ニシテ
スルナリ
脚 黒ク爪硬ク利シ
羽毛 頭背赤褐色
面翼淡青ニシ
テ斑點アリ腹ハ
白色ナリ
大 鳩ニ似テ小シ

常習
和州洞籠川山中ヨリ多ク出ス鳥類中ノ最
モ小ナルモノナリ冬月ニ多ク雪降ル所ハ人家
ニ近キ厨辺ニ米ヲ食テ索ム冬ハ鳴声鷓鴣ニ
同クシテ高シ春多ク轉ル声田亮ニシテ細碎ナ
リ其巢ハ茅葦毛毳等ヲ取テ之ヲ作リ穴ヲ穿テ
至テ精密ナリ之ヲ樹上ニ懸ケ或ハ一房ニ房ア
リ此鳥婦鳥ノ名アル所以ナリ

効用
畜則シテ戯ヲ作サシムベシト云フ
螟蛉ヲ食フヲ以テ園圃ノ害ヲ除クテ少カラズ



常習
林中ニ棲息シ毎ニ小鳥ヲ捕捉シテ其生肉ヲ食
フ其聲ハ高ク喧クシテ好カラズ故ニ俗ニ惡声
トス夏鳴テ冬止ム此鳥餌食ヲ畜フル性アリテ
草茎或ハ樹刺ニ蛙蟻等ヲ貫キ置ケリ之ヲ伯勞
ノ草茎又ハ伯勞ノ棘トイフ

効用
之ヲ畜ヒ小鳥ヲ撃テ弄戯トスヘシ

附説
徳川公ノ幼ニシテ尾張ニ質タルヤ人アリ百古
ヲ獻ズ公問フ此鳥何ノ好キヤアル其人曰ク此
鳥ヨク百鳥ノ音ヲ擬セリ公曰百鳥ノ音ヲ擬ス
ルモノハ其自己ノ音ハ必ス聴クニ堪ヘズ且主
將ハ小慧ノモノヲ取テズト之ガ献テ却クト編
者此ニ至テ根然筆ヲ投ズ



名稱 (ホ)ジロ

部分
頭 黒シ
肩 白クシテ多ク如シ
頬 白ク黒色ヲ間ユ
背 黒斑アリ
翼 黒シ
脚 赤黒色
尾 黒クシテ兩端白
モアリ

羽毛 全身灰赤色腹微
赤黄色
形 雀ヨリ大ナリ

名稱 蒿雀 アヲレド、

部分
頭 黒褐綠色
嘴 黒シ
肩 淡黄褐色
翼 黒色ニテ褐線
尾 黒形褐線
背 黒形褐線
腹 微黄色
形 ノレコニ似テ微
大ナリ



常習
關西諸州ノ産ヲ勝レリトスレド關東ニモ亦多
シ原野ニ棲息シ巢ヲ麥圃ノ中ニ營ム春月ヨリ
多ク轉ル其声閑滑ニシテ小鈴ヲ搖ル如シ其片
鈴ト云ヒ諸鈴ト稱スル皆其音調ニ由テ名クル
モノナリ人之ヲ画籠中ニ養ヒ鈴音ノ多キニ誇
ルト云フ

種類 深山ホ、ジロアリ

効用 籠中ニ養テ其声音ヲ賞ス

常習
山中ニ栖ミ秋冬ノ頃群飛シテ原野蒿萑ノ間ニ
來ル声ノジコ及ビホ、ジロノ如シ春ニ至レバ
轉ス声亦ノジコニ似タリ性急躁ナリ其形シト
トニ似タルヲ以テ俗ニ之ヲアヲレトト云フ
畧レテアヲレト云フ

効用
秋中取テ食用ニ供ス
腸及ビ羽翅ヲ去リ焼テ末トナスキハ一切血ニ
止メト云フ



名稱 交喙 イスカ

部分
嘴 蒼クシテ尖形ヌ
頭 其ニ蒼赤
背 赤紫色
腹 赤紫色
大 伯勞ヨリ大ナリ

常習
秋ホニ渡リ米ル鳥屬ノ一ニシテ嘴甚ダ奇異ニ
シテ有名ナリ松擬ノ種子及菴稗ヲ食テ此嘴ハ
松樹ノ子殻ヨリ種子ヲ啄出シテ食スニ適當セ
リ種高調ノ鋭声ヲ發スルモノアリ

効用 肉味頗ル佳ナリ

附説
此鳥ノ嘴齧齧スルヲ以テ俗ニ事物ノ齧齧スル
ヲ伊須加ノ嘴ト云フ

名稱 甲 雀

部分
頭 黒シ
肩 黒クシテ多ク如シ
頬 白ク黒色ヲ間ユ
背 黒斑アリ
翼 黒シ
脚 赤黒色
尾 黒クシテ兩端白
モアリ



常習
雀ノ老若者皆ノ斑文分明ナリ之ヲ翁雀ト云フ巢ヲ出テ未ダ
スレカラガハハハハ黄色ナリ之ヲ黄雀ト云フ性喧噪ニシテ好テ群ヲナ
ス春秋粟ヲ食ル朽木ノ隙或數管ニ即テ轉ス往々數千百群ヲナレ
相闘クノアリ俗ニ之ヲ雀合戦ト云フ

種類 乙符ノライスマハ頭ノ色常雀ヨリ深シ背モ黄色微青テ形稍小
ナリ

効用 肉食ヲ味佳ナリ

附説
雀ハ日夜皆ノ眾鳥皆然リ故ニ入昏ニ至テ物ヲ見ガテ雀目ト云
ハ内雀ハ説テミヤウナイ雀ト云フ俗説ニ一條帝ノ宮中將実
方ノ奥州配及後遂ニ此ニ終ル再ヒ禁庭ニ帰ラシメル念化
レテ雀トナリ來テ殿上大盤ノ飯ヲ食フト云フ玉賀都万ニ
フナイハ新嘗ト云フナルヘシ統緒ヲ人ヨリ先ニマツ食ムヲ
以テモカ名ケタルヘト見ヘタリ



名稱 嘯嘴鳥 レメ

部分

頭 黃白、ヒテ黄斑
嘴 太ク短ク灰白ナリ
眼 其ニ正黒ナリ
翼 黒クテ中間鳥類
脚 淡黄色
背尾 淡色ナリ
形 雀屬ニ似テ稍小ナリ

常習

山林ニ栖ム嘴太ク短クレテカアリ声山雀ニ似テ大ナリ春月轉リ數品ノ声ヲナス網シテ之ヲ捕ヘ畜フニ雜穀ヲ以テ飼トナシテ赤屬ヲ捕フベレ是レ亦冬月渡リ来ル鳥屬ナリ

効用

肉味油臭氣アリ佳ナラズ



名稱 桑鳥 イカル マメワレ

部分

嘴 大ニテ短ク深黄
項 淡黒色帽ヲ戴ク如シ
翼 端黒色ニテ黄褐ヲ帶ブ
脚 赤色ナリ
尾 茶褐色
羽毛 全身灰色
形 俗方ノ如シ

常習

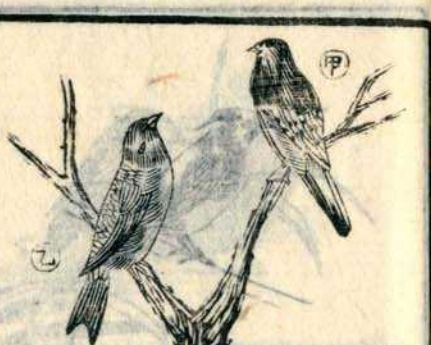
深山中ニ棲ム春夏ノ間飛テ村里一出ツ毎ニ衆柘ノ間ニ集ル五穀ヲ餌食トス春月轉リ声高亮ニシテ清ミ月星日ト曰フ如ク聞ユ奥州ニテ三光鳥ノ方言アル所以ナリ之ヲ籠中ニ養ヒ豆一粒ヲ其中ニハレバコレヲ含ミ旋轉シテ止マズ故ニマメワレト云フ

効用

樊籠中ニ馴養シテ人ニテ奏ス

附説

古来斑鳩ヲイカルガト訓ズルハ非ナリ斑鳩寺ヲイカルガ寺ト読メヒイカルガハ桑鳥ノ古名ナリ斑鳩ハジユスガバトナリト云フ



名稱 甲 金翅雀 ヒワ 乙 カワラヒワ

部分

頭 黄ニテ黒色帯
嘴 灰白
翼 黄色黒ヲ交ス
腹 黄白ナリ
脚 黒色ナリ
尾 黒シ
羽毛 全身黄色ニテ青ヲ帶ブ
大 雀ヨリ小ナリ

常習

此鳥モ亦秋ノ比ヨリ肆中ニ籠ヒ来ル小鳥ナリ穀類ヲ食ス其声清滑ニレテ多ク轉スヒユニチユシト曰フ如シ

種類

乙符ノカハラヒワハ形甲種ニ似テ稍大ナリ頭背灰白翅蒼黒ニシテ黄羽ヲ交ユ声モ相似タリ山中水辺ニ栖ム故ニ名々外ニカラヒワダデヒワアリ

効用

此鳥ハ好音ナルヲ以テ人多ク愛賞ス

名稱 拙老婆 ウツ

部分

頭 純黒ナリ
嘴 短肥ヒテ黒シ
類 頭ニ至ル茶紅ナリ
翼 灰青微赤ヲ帶ブ
尾 黒シ
羽毛 背胸腹共ニ微赤ヲ帶ブ灰青ヲ帶ブ
形 柴鶴額ヨリ肥大ナリ

常習

此鳥雄ヲテリウソト云ヒ雌ヲアマウソト云フ山林中ニ栖ム其声円滑ニレテ短ク嘯クが如シ名ノ起ル所以ナリト云フ鳴ク片ハ声ニ隨テ脚ヲ互ニ牽テ琴ヲ彈シテ手ヲ搖ス如シ之ヲ俚俗ニウツ琴ヲ彈クト云フ亦冬月渡リ来ル鳥類ナリ

効用

籠養レテ之ヲ弄賞ス

附説

此鳥ノ種屬ハ皆樂ノ音調ニ隨ヒ愛スベキ声ヲ發スルモノナリ故ニ歐洲ニテハ笛音ノ調子ヲ效ヘ又ハ言語ヲ效フルト云フ



名稱 花雞アトリ

頭 灰青色
 嘴 太ク田ク黄赤ナリ
 背 蒼黒ニテ赤ヲ帯
 脚 黄白ナリ
 翼 共ニ黒色
 尾 智腹赤黒ニシ
 羽毛 テ領黄赤ナリ
 腹下黄白ナリ
 形 雀ニ似テ大ナリ

常習 深山ニ産シ好テ群ヲナス秋ホニ籠ビ来ル鳥屬
 ナリ常ニ山林ニ栖ミ不時ニ群ニテ寺院等ノ
 叢林ニ集ルヲアリ今之ヲ捕フルモノ謀ヨナニ
 地ニ誘ヒ網ヲ以テ打テ之ヲ捕フ一巢數百ヲ獲
 ルト云フ

附説

日本紀ニ天武帝七年鴛子鳥天ヲ蔽ヒ西南ヨリ
 東北ニ飛ブト見ユ後世モ亦之アリ人以テ天変
 トナセリト云フ



名稱 十二紅ヒシヤク

頭 冠毛アリ
 嘴 黒シ
 眼 辺 喉下トモ黒毛アリ
 翼 凡切ノ色黒ク未赤
 尾 短カク黒色ニシテ
 羽毛 全身灰紅色
 大 雀ヨリ大ニシテ白
 勞ヨリ小シ

常習 水曾山中ニ多ク栖ム性好テ飛集群ヲナス是レ
 連雀ノ名アル所以ナリ形声トモニ愛スベシ時
 々庭中ニ来リ樹実ヲ食フ其遊嬉意ヲ得ルキハ
 尾ヲ披キ頭ニ被リ孔雀ノ舞ヲ如シ囀ヲ以テ之
 フ捕ハ樊畜スベシ

種類 一種形稍大ニシテ凡切ノ赤紅黄相間リ尾黄色
 ナルアリ之ヲ十二對ト云フ

効用 樊中ニ畜フテ愛賞ス



名稱 魚狗 カハセミ

頭 共ニ緑色ニシテ青
 頰 大ニシテ黒シ
 嘴 長クテ黒シ
 眼 辺 黒クテ左右赤
 喉 白色
 背 緑褐色
 翼 赤褐色
 腹 短ク黒シ
 尾 短ク灰色
 大 雀ノ如シ

常習 諸国水陸ノ木ニ相ニ宿ニ小上ノ樹枝草上ニ
 集リ又ハ水上ヲ翔リ魚ノ浮ヲ窺ヒ忽チ水ニ
 没シテ舍テ捕クニニテヲ失ハズ其捷輕感ズベ
 シ此鳥ハ巢ヲ断岸中腹ノ横竅ニ當リ深サ一尺
 許リト云フ

種類 翡翠ハ深山幽溪ノ辺リニ栖ム大サ鴿ノ如シ全
 身赤色ニシテ光リアリ嘴赤モ脚モ赤シ



名稱 白頭翁 ムクドリ

頭 白色
 嘴 黄色鼻翅微黒
 背 灰黒色
 翼 灰黒ニシテ紅アリ
 腹 白色
 脚 黄色
 形 小鳩ノ如シ

常習 原野村里ニ多シ樹木ノ空河中ニ巢フ其声鳴ニ
 似テ喧シ好テ群ヲナス堂塔ニ集リ又好テ椽及
 棟子ヲ食フ其能ク椽樹ニ棲ムヲ以テ此名ヲ附
 セリト云フ

種類 小椽鳥ノリ形相似テ小シ

効用 肉味モ鴨ニ似テ佳ナリト云フ



名稱 霧鳥 フウキヨウ

部分

頭 黒クシテ緑光アリ
長羽毛 西腋ヨリ尾上ニ
至ル長白毛アリ
背 紫褐色正中心ヨリ
相續ノ如キモノ並
上出テ下内ニ左
右ニ開ク下内リテ
鈎ノ如シ
腹 淡紫褐色
尾 長カラス
脚 三ノ鳥ヨリ太ナラス

名稱

慈鳥 カラス

部分

頭 黒
嘴 稍大ニシテ黒
脚 黒
尾 長カラス
羽 全身純黒色
ニシテ若光アリ
形 鶯ヨリ大、小ナ
リ

名稱

鶻 カササギ



名稱 鶻 カササギ

部分

頭 黒色微褐色アリ
嘴 大ナシ深黒色
背 黒色微褐色アリ
脚 黒色微褐色アリ
腹 黒色微褐色アリ
尾 黒色微褐色アリ
大 鶻ヨリ小ニシテツツ
ミヨリ大ナリ

名稱 カケス カレトリ

部分

頭 白クシテ黒斑アリ
嘴 二三ノ長ニシテ後
アリ尖リ黒
背 共ニ次赤色
腹 共ニ次赤色
翼 灰黒色ニシテ端ヨ
リ青斑アリ
脚 黄黒色
尾 長カラス
形 鳩ニ似タリ

此鳥ハ亜細亞ノ諸鳥及新幾内亞ノ其所ニ栖息
ス性喧噪ニシテ高調ノ声音ヲ奏ス常ニ三四十
隻群集シテ空際ヲ飛翔ス此鳥ハ羽毛長キガタ
メ風ニ逆ハザレバ飛翔アリ能ハズ故ニ凡鳥ハ常
ニ飛ガ能ハズ凡アレバ飛翔ス常食ナクシテ風
肉向上口ヲ開テ食ヲ如キ等又説アリ人之ヲ捕ヘン
トスレバ勇猛ニ其身ヲ防衛スト云フ
種類 大小ニ種ノ外数種アリ
効用 羽毛甚ク美ナルヲ以テ衣服ノ粧飾ニ供レテ大貴重スト云フ
往時此鳥ニ附テ左ノ説ヲナスモノアリ曰ク此ハ鳥ノ人鳥ノ
麗ニキモノヲ飾テ新ニ巧造シ鳥形ヲ作テ本邦人ヲ諷ル
モノアリト云フ

山林及村市ニ多栖自將ニ曙ケントスバ群飛鳴シテ出ツ腥羶
朽腐肉ヲ攫ニ雜鳥糞ヲ糞糞食リ恣ニテ食黃昏ニ至リ又
啼噪ニ最甚ト遷リ宿ス夜中モ月出テ明登ル如クバ誤テ曉天トシテ
鳴テ下リ俗ニ月夜鳥ト云古ヨリ此鳥ハ初テ生レ母哺テ空且子長シ
又哺テ空且子長シ其恩ヲ記スト云ヘリ故ニ孝鳥或ハ孝鳥ト云又
極ニ長壽ト云フ
種類 深山カラス熊野カラス山カラス蝦夷カラスクマガラスアリ
効用 腐敗物ヲ攫テ市街ヲ清淨ニシ効アリ
往時此鳥ニ附テ左ノ説ヲナスモノアリ曰ク此ハ鳥ノ人鳥ノ
麗ニキモノヲ飾テ新ニ巧造シ鳥形ヲ作テ本邦人ヲ諷ル
モノアリト云フ

畿内東北州ニハ米ヲス筑肥兩州ニハ多シ味
桑椹熟スルキヲ多シトス常ニ慈鳥ト雜雀鳥
ス此鳥ハ狡猾竊盜及ヒ好事ノ性アリテ且甚ク
多辨ナリ西洋ニテハ人ノ多辨ナルモノヲ稱シ
テ鶻ノ如シト云フ
支那ニテハ慈鳥ノ噪クヲ聞ケハ凶事アリトテ
憂ヘ鶻ノ噪クヲ聞ケバ吉事アリトテ喜ブ俗ア
リ故ニ之ヲ喜鶻ト云フ

山林ニ栖ム鳴声極テ喧シ能ク百鳥ノホヲナシ
又人言ヲ擬ス性躁惡ニシテ小鳥ヲ捕ヘ食アリ
類相値ルハ搏闘ス此鳥劍ヲ蓄フハ性アリ業
獵ノ地或ハ落葉堆キ處ニヨク糞子ヲ埋ムル
ノナリ然レド然ニ其処ヲ忘ル之ヲカケスノ埋
栗ト云フ

往時商家ニテハ除夜元旦ニハ此鳥ノ肉ヲ炙リ
食料ニ供レ以テ貸シテ取ル義ヲ祝スト云フ

第四雜類一名亂搔類



此類ノ脚ハ強大ニシテ搔亂及ヒ棲木ニ適應スル勁爪ヲ有シ
四指又ハ稀ニ三指ノモノアリ多クハ雄ノ羽毛雌ヨリ美麗ニ
シテ雄ハ通常距ヲ具シ争鬪ヲ好ム又翼短クシ遠翔スル能ハ
ザルモノ多シ只鳩ノ属ハ飛ニ適スル勁翼アリテ脚モ亦細シ
食餌ハ雜穀植物ノ葉芽小蟲類等ナリ

名稱 (ライテカウ)

部分

頸 長シ
喉 白色
脚 全脚及指淡褐色
又白毛ヲ生ス
尾 短シ
羽 黄黒斑アリ又ノ
淡赤或ハ白毛ヲ
交ニ雜シ如シ
大 雌雄ノ如シ

常習

信州ノ御嶽加州ノ白山等ノ高山七八合以上ノ
高地千歳松ヲ生スル間ニ棲息ス村里ハハ出ル
ヲ此鳥高ク翔ルコト能ハバ殊ニ甚ク人
ヲ怯レズ故ニ其群鳥採ハ之ヲ逐ヒ赤手ニテ捕
フルコトヲ得ベシト云フ夏月ハ黄褐黒斑ナレ
氏冬ニ至テ全身雪白ニ變ス或人ノヲ銃殺シテ
其胃ヲ檢セシニ千歳松越橋ツガザクラ等ノ嫩
芽松実等アリシト云フ

名稱 鶉ウヅラ

部分

頭 小シ
脚 雄ハ高ク雌ハ
短シ
尾 短シ
羽 全身褐色ニシテ
黒白斑アリ
大 雌雄ノ如シ

常習

甲州信州野州等ノ産ヲ上トス原野ニ栖ミ平旦
一ヨク鳴ク声高クシテ長短アリ人ノヲ見レバ
疾ク葦間ニ入り細ニ尋レテ見ヘバ夜ハ群飛シ
晝ハ草伏ス田麦長キ時捕ルルヲムギドリト云
ト雪中ニ捕フルヲユキトリト云フ

効用

好事家画籠ニ養テ声ノ美ヲ愛ス
肉味極メテ美ナリ炙リ食フヲ宜シトス

名稱 孔雀 官尺

部分

頂 緑毛三四莖アリ
冠 アリ
眼 赤紫白斑
長シ緑ニテ翠故
アリ
脚 長シ
翼 上ハ灰黄端 翠黛
至ア長ク端ニ藍色
金翠珠アリ
尾 至ア長ク端ニ藍色
金翠珠アリ
羽 頸背翠緑 毛紺翠
散リ其餘ハ蒼黒
金軟ナリ

常習

効用

此鳥ハ固ト印度ノ土産ナレ我邦及歐米諸国ニテ
昔アリバニ久シク雌尾長カラス珠モナク母雞ノ形ニシテ大ナリ
性勇敢ニシテ争鬪ヲ好ミ不調ヲ鋭音ヲ發ス聲中ニアルモ蕭
笛ノ音ヲ聞ケル尾ヲ披ヒテ舞フモノ、如シト云フ
尾羽ハ首飾及ヒ他ノ裝飾ノ用ニ供スベシ
西洋ニテハ昔此肉ヲ貴重セシコトアリト云フ

附説

日本紀推古帝六年ニ新羅國孔雀一隻ヲ獻ストアリ
一説ニ鳩毒ト云フハ即此鳥ノ毛候ニ騰ナリト云フ或ハ此
鳥ハ毒ナシト云ヒ又ハ尾ニ毒アリト云フ然レトモ昔者
羅馬ノ美食家ハ甚ク此肉ヲ嗜ムト云ハバ毒ナキノ説信
スベキカ





名稱 雉 キジ

部分

頂 小紅冠アリ
眼 共ニ紅色
喙 大ニテ蒼シ
翼 短ク蒼黒斑アリ
脚 雞ニ似テ勁
尾 長クシテ支米アリ
羽毛 頭頸胸腹翠
黒ニシテ光リア
背ハ米斑色

名稱 雜雉 イナドリ

部分

頭 冠毛アリ
眼 周圍茶色ニメ
大發 絨如シテ
ニ一部ノ白毛アリ
喙 淡黄黒色
脚 淡黒色
尾 長クシテ其數十
七枚最モ長キハ
二尺四寸余アリ
羽毛 全身赤褐色ニ
シテ黒白ノ斑アリ

名稱 雞 ニハトリ

部分

頭 本ハ紅肉冠ヲ戴
ケリ
頸 紅肉無ル
頭 細長毛アリ
脚 長サ三寸ニテ距
アリ
尾 長シ
羽毛 丹黒白黒黄丹
白又ハ三色四色
雜駁等アリ

名稱

部分

甲 鴿 ハト
乙 鳩 キジバト
頭 凹ク小冠アリ
喙 短シ
脚 隆ク脰ル
羽毛 青白黄赤紫黒
等アリ
大 伯勞ヨリ大ナリ

常習

山野ニ多ク栖ム性勇悍闘ヲ好ム又能ク走ル人
ニ逐ハル、性ハ脆ク其能ブコト速カテレ舞
ヒ翔ルヲ能ハス鳴クハ必ズニ声高ク警キテ短
カレ雌ハ冠ナク黄赤黒斑ニシテ支米アラシ尾モ短
カレ春月山人野ヲ燒キ火既ニ卵ヲ伏スル処ニ
至ラントスレバ雌先ツ翅ヲ張テ仰テ地ニ依テ雄卵
ヲ啣ミ雌ノ翅上ニ置キ雌ノ喙ヲ啣ミテ急ニ引キ
去リ以テ火ヲ避ク之ヲ燒野ノ雉ト云フテ其愛情
ノ厚キヲ賞ス
振州龍勢郡神山村長村和州長谷山ノ雉ニハ冠
ナレト云フ

種類

常習

附說

諸国山林ニ多ケレレ雉ニ比スレハ稀ナリ性
同類ヲ愛ス若レ侵サル者アレハ直ニ往テ闘ヒ死テ顧リ
スニ常ニ粗暴獲ル所ノモノハ手ニ應シテ摧碎ス雌ハ黒色
ニ赤ヲ帯ヒ腹略白ク尾短ク頂ニ冠ナシ形色雄ニ比シテ遙ク劣
肉味美ニシテ雉肉ニ減セズ
往時ハ此尾ヲ箭羽トシテ貴重セリ
本邦古ヨリ邪ヲ射ルニハ此羽ヲ箭羽トス故ニ産屋及邪
病ヲ攘テ家墓目録ヲ以テ邪鬼ヲ射ルニ必ズ此尾ヲ箭羽用
ナル武將旗中ノ表指ノ箭前ニハ此尾ト鷹鷲ノ羽ヲ用ユ
是此鳥ノ長ク剛毅剛直トテ箭羽トシテ義ヲ反ルカト云
朝食鑑ニ見ヘタリス此尾ハ長クシテ殆ト身ニ三倍ス故ニ
和歌ニ餘尾尾ノ箭トシテ長クシテ云フ詞ニ見ヘタリス

常習

種類

附說

村々家々之ヲ畜養ス性勇剛闘ヲ好ム雌ハ肉冠小ク尾短ク羽毛
美ナラズ雄ヲ愛ス情甚タ厚ク雌ハ能ク鳴テ時ヲ報ケ午前二時ヨ
リ鳴始メ之ヲ初鳥俗ニ番鳥ト云ヒ次テ鳴テ中鳥俗ニ番鳥ト
云ヒ後ニ鳴テ屢鳥ト云フ初鳥ニハ音鳴ク故ニ雜ヲ稱シテ金
ノ鳥ト云フ夜半以前ニ鳴ク宵鳴ト云ヒ支那ニテハ荒雞ト云ヒ和
漢ノ俗トモニシテ思ム
種類 種類甚多ト本邦ノ鴿雉ト云ヒ最モ小ナル南京雑種ト云フ
羽毛ハ拂子ニ製スヘシ肉及ヒ卵ハ食物トシテ滋養多シ
雄雉ハ古ヨリ其時ヲ報ルヲ賞ス
闘雞ノ戲ハ古ヨリ之アリ左傳ニモ見ズ東晉ノ祖述ト云フ人中
夜飽雞ヲ聞テ中原純ルヲ察シ功名ヲ博セシトシテ忽チ起
テ舞フト云フ其氣象想スヘシ

常習

種類

附說

隨地ニ多ク野鴿家鴿ト云フ寺社等ニ群集スル家鴿ナリ巢ニ
屋上ニ構ヘ局々窓ヲ開テ出入ス匹偶常ニ局ヲ守テ他ノ匹偶ヲ入
レズ又ヨク主人ノ家ヲ覓テ遠方ニ行テ放シ必ズ其巢ニ還ルモノトシ
乙符キジバトハ羽毛蒼灰ト紫赤相交リ喙脚淡赤シテ鳩類中
ノ本モトナリ常ニ山林ニ栖テ人家ニ近カス其喙短シ外ニ赤鳩
青鳩等アリ
鴿ニ傳信鴿ト稱セテ音信ヲ通スル用ニ供ス
周礼ノ仲秋鳩杖ヲ授クアリ是ハ鳩性食ニ在リル故ニ杖頭ニ鳩
ノ形ヲ作り老人ニ杖カシム食ニ在リテ飲饌有テ古ヨリ鳩ニ杖ヲ授ク
リト稱ス其故ハ鳩ハ必ズ母鳩ノ背ニ杖ヲ止ルニ杖ヲ止ルニ杖ヲ授ク
唐ノ張九齡鴿ヲ以テ書ヲ傳ヘ目ヲ飛奴ト云フトテ彼書見テ多ク
近時佛国ノ都巴理ノ守兵ニ曲マレヤ亦鴿ニ依テ四方ニ音信不云リ



第五走類



此類ハ羽翼甚ダ短ク飛翔ノ用ヲナサス脚ハ長ク
シテ勁ク二指或ハ三指ヲ具フ皆後指ヲ有セザル
ヲ常トス其食餌トスルモノハ植物類ナリ

名稱 駝鳥ダテウ



部分

頭 長シ又ハ三趾
嘴 鈍シ
翼 短ク小シ
脚 長ク大小二指ヲ具ス皆前二趾ナリ
尾 短シ
羽毛 全身黒色ニシテ白色ト灰色ヲ交ニ替羽ハ長ク子波如ク動ク
高 七八尺

常習

亞非利加及ビ亞刺比亞ノ土産ニシテ大槪森林ニ遠キ沙漠及ビ曠野ニ栖ム此鳥ハ世界鳥類中ノ最モ大ナルモノニシテ馳走スルハ蹄踏ノ音ノ二枚アルノミ走ルノ一瞬キテ諸動物ノ能ク及ブモノナシト云フ終リ鬨クテ一歩踏テ以テ蹶ル物ニ逐ハルハ足ヲ以テ砂石ヲ掘ミ其後ニ擲ツ勢鋭弾ノ如シ常ニ群ヲナレ一雄ニ數雌アリ窠ヲ同フニテ極ム一窠ニ數十卵アリ其大サ小兒ノ頭ノ如シ鬣ハ凡ソ三斤許リリト云フ翼羽ト尾羽ハ婦人衣服ノ粧飾ニ用キテ價アリ皮ハ箱及鏡ヲ作ルニシト云フ卵ハ味甚ダ美シ種々ノ食物ニ料理スト云フ 卵殼ハ器物ヲ製スベシ

効用

名稱 食火雞 ヒナヒトリ

部分

頭 骨壁アリ毛ナク
嘴 淡藍色ナリ
頸 長ク毛ナク頭同色ナリ
眼 細小ナリ
脚 杖ノ如ク筋多ク三指ヲ有ス前二趾ナリ
全身 正レク翼毛ト稱スヘキモノナシ
全身ハ羽毛テラ
羽毛 黒色ナリ 高 五六尺

常習

澳太利亞及ヒ印度諸島ニ産ス類ル駝鳥ニ類似スル鳥ナリ郊原及ヒ沙漠中ノ草類種子小蟲類ヲ食ヒ甚ダ迅速ニ驅走ス一窠ニ七八個ノ卵ヲ産ス
此鳥ニ附テハ往時左ノ説ヲナセリ曰ク此鳥ハ舌ナクレテヨク火炭ヲ食ヒ又石ヲ食フ故ニ其糞ハ亦炭或ハ石ナリ又曰ク綠ヲ以テ白石ヲ繫キ之ヲ吞マシメ良久フニテ引出セバ石柔カニレテ泥ノ如シト故ニ目レテヒクヒドリ又イシワリト云フ然レモ實ニ火ヲ食フニハアテサルナリ

附説

第六涉水類



此類ハ脚甚ダ長シ故ニ水ニ入ルモ其羽ヲ濕スコトナシ嘴ハ通常頸ヨリ長クシテ尖ルモノ多シ翼モ長クシテ能ク飛翔ニ適セリ尾ハ甚ダ短カシ常ニ水邊ニアリテ蟲類魚類或ハ穀物ヲ食スルモノナリ



名稱 鶴 ツル
鶴雛 マナヅル

部分
頭 長四寸ニシテ淺黒
頸 長ク白ニナリ
背 共ニ赤色
翼 白色
脚 長クシテ淡赤色
尾 頂骨喉皆白
羽毛 其下ニ羽腹至
リ黒色背ヨリ尾
前ニ至ル迄微青
高 四五尺

名稱 アハツル
頭 灰色又ハ白ノ長毛
頸 長シ
嘴 水淡緑色ニシテ
ハ黄色ヲ帯ブ
腹 深黒色ニシテ長
毛
背 淺黒色
脚 長クシテ淡黒色ヲ
形 陽雀ヨリ小ク形色
ハツルニ似テ



名稱 鷺 シラサギ
頂 嫩茎ノ長毛アリ
頸 長シ
嘴 黒色ニシテ長シ
脚 甚ク長ク黒シ
全身 羽毛散垂シテ蓑
ノ如シ
羽毛 全身潔白雪ノ如
シ



名稱 ゴイサギ
頂 紅毛アリ冠ノ如
シ
頸 長シ
嘴 長クシテ丹シ
脚 長クシテ青シ
尾 短カシ
羽毛 灰白色ニシテ碧
光アリ



常習
此鳥昼ハ浅水中ニ立テ魚蝦ヲ窺ヒテ食ヒ飽ク
片ハ足ヲ拳シテ立テ睡ル夜ハ林中ノ高樹ニ栖
ム其群飛シテ下ルトキハ梨花ノ晚風ニ舞フニ
似タリ其声ハ人ノ呼ブ如シト云フ

種類
ダイサギ、一盃サギ、アマサギ、クロサギ、カマサギ
等アリ

効用
此蓑毛ヲ以テ帽ヲ製ス
肉味輕淺食スルニ足レリ

附説
此鳥ハ高樹ニ巢ヒ樹杪ニ宿ス常ニ沼池ノ辺ニ
栖息シ魚類蛙類虫類ヲ飼トシ最モヨク魚蝦ヲ
捕リ食フ夜中寂寞ナル叫声ヲ發スルモノナリ
夜間體ヲキハ光アリテ火ノ如シ月夜最モ明カ
ナリト云フ

種類
ホシ五位、ミノ五位、セクロ五位等アリ

昔者近衛帝神泉苑ノ池上ニ宴ヒ給ヒシ片鷺アリ
立テテリ帝藏人ヲシテ之ヲ捕ヘシム鷺驚テ飛
ビ去ラントス藏人一喝シテ曰ク宜旨ナリト鷺
伏シテ動カス捕ヘテ献ス帝御感アリテ爵五位
ヲ賜ヒ之ヲ放タシム是ヨリ此鳥ヲ五位鷺ト稱
ストカヤ

常習
凡ソ鶴屬ハ沼沢アル地方ニ往來シテ食餌ヲ索
メ又大群ヲ成リ遷徙スル者アリ其群飛スル
モ長三角形列シ其集點ニ居ルモノ左右ノモノ
ヲ導カト云フ其声ハ多ク清亮ナルモノナリ
ネヅルハ西洋ニテハ伶人鳥或ハ少夫人ト名ク
甚タ稀少ノモノナリ此鳥ハ一方ノ翼ヲ挙テ前
後ニ進退シ始モ帆ヲ揚ゲタル如キ形狀ノ
ナシテ回轉スル奇異ナル習慣アリト云フ

種類
鶴ノ種類甚ク多シ上欄ニ分解スルハ即チ鶴雛ナリ画テ多ク畫ク所
ノモノハ丹頂ナルナリ雀ハ大ナル高リ五六尺長ク三四尺嘴六寸ノ大
氣清爽和暖ナレバ空ヲ舞ク鳴ク音遠ク聞ヘ鶴雛ハ声短シ常ニ蚊
類及ヒ小魚蛙蝦等ヲ啖ム巢ヲ野叢作り卵ヲ伏ス卵ハ大ナル
子ノ実如シ卵四五子ヲ生ム或ハ六子雌雄交シテ護ル其感情深
白ルツルニシテムロツル琉球ツルアリ

効用
羽ハ羽常又ハ前羽ヲナシ裁製織料トシテ又ハ綿絮代ノ肉ハ上
餌ニ供ヒテ之ヲ貴重ス

附説
雀ハ山宮仙翁ト稱シ其上端モ壽ヲ多ク以テ冠冠賀祝ノ供此ヲ
用キタリ昔者源二位千隻ノ雀ヲ由井濱ニ放シ壯觀ニ供ヒシガ未
五百ノ星霜ヲ経ルモ猶駿遠ノ田沢ニ乘往ス偶見ルモノアリ白ク翼
間ニ金札アリ年号ヲ記スト又元和偃武ノ昔某侯射テ雀ヲ
獲タリ金札アリ建久ノ文字ヲ彫セシト云フ此ヲ以テ奇トセリ



名稱 鶴 コフノトリ

部分
頭 長シ
嘴 太ク長ク六七寸ニシテ黒シ
眼 黄色ニシテ周黄赤色ナリ
翼 端羽黒ク中羽表ハ淡白光アリ
脚 長クシテ淡紅色ニシテ純白ナリ
尾 短ク純白ナリ
形 全身白色

常習
常ニ閑静ナル喬水或ハ寺觀ノ屋上ニ巢フ晝間ハ田沢河海ノ淺洲ニ遊ヒ雀鷺ト伍ラナシ稻蘆及ビ小魚蝦類ヲ食フ此鳥ハ舌短カク小クシテ声ナシ其鳴クヤ嘴ヲ相タ、キテ撃折ノ如キ音ヲナスナリ

効用
此翼羽ヲ霜フリト稱シテ往時ハ箭羽トス

附説
此鳥一名ヲクマヒト云フ日本ニハ一種ノミナリ好テ蛇ヲ食フ故ニ此名アリクマヒハクチナハクヒノ略ナリト大和本草ニ云ヘリ



名稱 漫畫 ヘラサギ

部分
嘴 扁ク長ク五寸許リ端廣ク寸許リ本黄ニシテ末黒シ
頸 長シ
背 胸ヲ背ニ至ル細羽モアリ
脚 長シ
尾 短シ
形 全身淡灰色
嘴鳥ニ似タリ

常習
此鳥モ水鳥ノ一属ニシテ大ニ鷺ニ類似シ池沼辺ノ林杪ニ巢フ性群ヲナスコトヲ好ミ毎ニ小群團集シテ終日水中ニ立テ嘴ヲ以テ水ニ画キ沙ヲ洵シテ漫ニ魚ヲ求メ瞬間モ息ムコトナシ然レ氏飽クハ石上ニ立チ樹枝ニ宿ス此鳥ハ嘴ノ杓子形ニ似タルヲ以テヘラサギノ名ヲ得タリト云フ



名稱 鴨 (キドリ)

部分
頭 蒼黒色
頬 白シ
嘴 蒼黒
眼 邊ニ黒條アリ
背 青黒
翼 黒シ
脚 細長ニシテ三指アリ前ニ高ク黄青短ク略シ黒シ
尾 短ク略シ黒シ
形 鶴鳥ニ似テ微小小ナリ

常習
遷徙鳥ノ一ニシテ隊ヲ聯ネ他邦ニ遷徙シ虫類ヲ食フ鳥ナリ常ニ江海川沢ノ辺ニ居リ百千群ヲ成シ飛鳴シテ侶ヲ呼ブ冬月最モ多シ故ニ歌人ハ甚ク寒夜ノ悲鳴ヲ賞セリ一種黒色ニシテ腹白ク尾ノ燕ニ似タルアリ常ニ江上ニ群飛シ翱翔迅速見ル能ハサル如キモノアリ亦キドリト稱ス紙ヲ剪リ片トナシ擲ツキハ此鳥喜ビ飛テ美スト云フ

効用
肉味最モ美ニシテ上饌ニ供ス



名稱 ミヤコドリ

部分
頭 黒シ
頸 稍長シ
眼 周田赤シ
嘴 長クシテ赤シ
翼 裏皆白シ
脚 長クシテキドリノ如ク三指アリ前ニ向フ
尾 背胸黒ク腹ト腹脇ト白シ

常習
此鳥ハ海辺ニ栖ミ近傍ノ雜草深キ沼辺ニ巢フ常ニ海潮ノ満干ニ隨ヒ淺瀬ニ出テ餌ヲ求人性怯懦ニシテ速カニ飛翔シ鋭キ叫声ヲ發ス其声雉鳥ノ声ニ似テ和ニシテ高ニヒクト曰フ如シ飛翔スルニ下ヨリ見バ白キ鳥ニ見エ上ヨリ見下ニ黒シ食餌ハ海中ノ虫類ニテ最モ牡蠣ヲ好ムトイフ

附説
伊勢物語ニ在五中将東ヘ下リシ條ニ武藏ノ国隅田川ニ白キ鳥ノ嘴ト足ノ赤キ鴨ノ大サナル水ノ上ニ遊ヒツ、魚ヲ食フ京ニ見ヘス鳥ナレバ皆人見シラマ渡守ニ問ヒケレバ是ナリ都鳥ナリト答フ云ヤトアリ此時中将名ニシオハミノ歌アリシヨリ此鳥甚ク有名トナレリ或説ニ伊勢語ノ都鳥ハ鷓鴣ナリト云ヘリ然レハ鷓鴣ト此鳥ハ別物ナリ都鳥ノコトハ都鳥考ト云フ存ニ詳カナリ



名稱 鶉

部分

頭 細長ニ淡黒色
嘴 茶褐色
翼 灰黒色ニテ小白斑アリ
脚 長クシテ灰黒色
尾 短カク白色ニ淡黒クナリ

名稱 秧鷄

部分

頭 蒼黒白文アリ
眼 赤褐毛アリ
頰 灰赤色淡黒横文アリ
嘴 淡黒色
脚 稍長ク毛胚淡黒胸同色微赤
尾 短シ
羽 全身淡黒色ヲ白文赤褐毛ヲ交ニ
形 雜雜ノ已ニ長シクナリ

名稱 田鷄

部分

頭 紅色アリ冠ノ短
嘴 木クニ短ク本紅ニ未黄ナリ
眼 上端上ヨリ目下ニ至ル紅色ナリ初メハ青シ
脚 長ク指最長ニ足趾ノ両方ニ膜アリ
尾 短シ
羽 全身黒クシテ光
形 鳩ノ如シ

第七游水類



此類ハ多ク水ニ栖ム鳥ニシテ頸長ク脚短シ其指ハ指間ノ膜即チ蹼ニテ接附シ脚ノ位置ハ體ノ平均點ヨリ後ニアリ羽毛ハ全身ニ密布シ別ニ柔軟ナル絨毛アリテ體ノ温度ヲ保チ且濕ヲ拒クモノナリ此類中秋此地ニ来リ春ニ至テ去ルモノアリ食用ニ供スベシ

常習

此属ノ習作ハ皆夜間ノモノナリ常ニ森林沼沢ニ栖ミ虫類小虫類ヲ食セントシテ淤泥ヲ衝キ又ハ林間ノ落葉ヲ撥乱ス夏秋多ク田沢ニ来リ冬ニ至レバ皆去ル能ク鳴キヨク飛ビ深夜翅ヲ鳴ラシテ閑寂ノ趣ヲ添フ歌人ノヲ鳴ノ羽振ト云賞詠ス鳴ノ字ハ和字ナリ歌人或ハ田鳥ノ字ヲ用ナル

種類

マシギ、ムナクロシヤ、ホトシギ、京女子、ウバシギ、ミヤマシギ、田シギ、ハマダラシギ、等猶多シ

効用 ホトシギ最ニ鳥ニ減セス

常習

夏比ヨリ秋迄ハ蘆荻田沢ニ栖ミ夏月ハ竹林中ニ巢フ性怯弱ニシテ獨居ヲ好ム此鳥歩行スルノ最モ迅カナリ能ク水中ヲ潜ルモノナリ且遠方ノ地ニ遷徙スベキ者ニシテ昼間ハ食餌ヲ求ムルコト稀レナリ其食餌ハ虫類植物種子等ナリ昼夜ヨク鳴キ夜間鳴ヲ且ニ連シ趣アリ声人ノ戸ヲ敲ク如ク故ニ歌人最之ヲ賞ス

種類

オホクヒオハ形微ク大ニ頸長ク嘴細ク脚高クシテ赤色ナリネズミクヒ大ヤブクヒナ、排クヒナ等猶多シ

常習

此属ハ秧鷄ニ似テ自在ニ水中ヲ游泳シ又陸地ヲ驅走スルコト速カナリ常ニ小虫類及ヒ草木ヲ餌食ス田沢水畔ニ栖ミ鳴ク之ヲ庭地ニ養ヘバヨク人ニ馴ル其雛甚タ愛スバト云フ

種類

大バンハ此鳥ヨリ大ニシテ全身黒ク頭白ニ脚ニ蹼アリ漢名ヲ骨頂ト云フ

効用

馴養スバト云フ



名稱

鴨鵝 ニホ
カヒツアリ
ケツキナク
モ手ナク

部分

頭 蒼褐色ニシテ斑アリ
背 共ニ頭ト同シ
翼 共ニ頭ト同シ
脚 淡黄色ニシテ三指ナリ
嘴 黄色ニシテ大鋭ナリ
肉角 腋ノ面ニトシ置
ト赤色ノ肉角
アリ
羽毛 全身淡黒色ニシテ
下ヨリ腹ニ至ル
ハ白ナリ
大 形 尾ニ似テ小ナリ

名稱

ウタウ

部分

頭 褐色ニシテ
嘴 黄色ニシテ大鋭ナリ
肉角 腋ノ面ニトシ置
ト赤色ノ肉角
アリ
羽毛 全身淡黒色ニシテ
下ヨリ腹ニ至ル
ハ白ナリ
大 形 尾ニ似テ小ナリ

常習

河海ニ栖ム好テ相並ビテ水上ニ浮泳シ又水中ニ沈潜シテ長キ時間ヲ経過ス水中ニ藻ヲ集メテ浮巢ヲカケ已胸部ノ毛ヲ以テ之ヲ被覆スト云フ此巢ハ風ニ隨テ東西ニ漂フモノナリ此鳥モ亦歌人ノ賞詠スル所ナリ

種類

大小二種アリ形状ハ同シ大ナルヲニ郎ト云フ漢名鴨鵝

常習

奥州津輕外ヶ濱及ヒ北海道ニ栖ム此鳥巢ヲ砂中ニ營ミ卵ヲ孵シ雛ヲ愛スル情極テ厚シ傳云フ此雛ヲ捕フルハ糞糞ヲ着ケ往テ其巢ヲ搜リ母鳥ノ声ヲ擬スルハ雛皆應鳴ニテ巢ヨリ出ヅ即チ之ヲ捕メ母鳥之ヲ見テ悲鳴 翻翔ス此時母鳥血涙ヲ雨ラスヲ以テ糞糞ヲ着ケルナリト春夏ノ交商人之ヲ賣ル大和本草ニ此鳥ハバンノ類ナルベシト云ヘリ

附説

此鳥ハニ安瀾鳥トモ云フ作者山東京傳此鳥名ニ扱テ善知安方忠義傳ト云フ小説ヲ作レリ俗間ノ艶賞スル所ナリ

効用

肉脂アリ甚カ美ナリト云フ

名稱

鸕鷀 ウ
シヤツドリ

部分

頭 長クシテ褐色
嘴 長クシテ未微々曲
頰 眼ノ周圍及ヒ頰ハ
褐色
脚 短ク四指蹠アリ前
向
尾 短
羽毛 全身黒色背肩ハ
微褐色ヲ帯テ老
ハハ腹白ニト云フ

常習

水郷及ケテリ善ク水ニ没シ魚ヲ捕ル日ニ沿岸淺洲ニ集テ好テク陽曝ス夜ハ樹上ニ宿ス柚久キハ屎糞其下ニ堆積シテ霜ノ如ク草水ヲ汚死セシ魚ハ此鳥ノ畜魚ヲ捕ルニ濃川岐阜ニハ夜篝篝火ヲ燃キ舟ヨリ此鳥ヲ放テ魚ヲ捕ルハ巧ナル者ハ八ニ十四五隻ヲ使テ云フ或ハ水中ニ立チテ網ヲ引テ入此鳥ヲシテ魚ヲ捕ルハ其魚ヲ捕ル水中ニテハ存マズ必ク浮出テ魚ヲ吞ム數尾ニ至ルハ之ヲ籠内ニ吐出セシム此鳥モ亦之ヲ執知ヒテヨク馴レテ鸕鷀ト云フ

効用

鸕鷀ニ用ルルベシ

附説

此鳥ヲ麻繩ニ纏挿シ之ヲ鸕鷀ト云フ亦漁獵ニ用ルルナリ散楽ノ曲ニ鸕鷀ト名クルモノアリ將軍尼利義教ハ散楽ヲ好キ木偶數十此曲ヲ演ス人之ヲ見バ勿ク見テ亦松浦祐將軍ヲ怒ムナリ竊シ大逆ヲ謀リ一日將軍ヲ請テ置酒ニ散楽ヲ張ル由鸕鷀ニ至リ甲斐入道ニ義教ヲ弑シ是ヨリ藤行鸕鷀ヲ以テ山トナシ樂府ニ列セト云フ

名稱

アヒサシ 澤ニテハ濃
ニシテハ名アリ

部分

頭 山
嘴 細長ニシテ尖ル
翼 長クシテ灰色ニ黒
羽ヲ雜ス
脚 短ク蹠ニ廣クテス
長カラズ
尾 灰色ニシテ背ト腹
ト白シ
形 燕ニ似タリ
大 鸕鷀程ナリ

常習

此鳥ハ群ヲナシテ各所ノ海辺ニ栖息シ遊ヘバ洋海上ヲ飛翔ス其餌食スベキモノニ逢フハ矢ノ如ク之ヲ衝突シテ之ヲ捕メ其鳴クヤ鋭キ声ヲ發スルモノニシテ陸地ヘハ来ルコトナシ食餌ハ魚類及ヒ小弱ナル水鳥等ナリ





名稱 鵞

部分

頭 長シ
嘴 扁クシテ黒褐色
頰 嘴ノ本額ノ辺ニ赤
色ノ縞アリ
尾 淡黒色 蹠
脚 短カシ
羽毛 潔白ニシテ光
形 鵞ニ似テ雁ヨリ
大ナリ

常習

此属ハ水鳥類ノ最モ大ナルモノニシテ秋末ヨリ池沼ニ来ルモノナリ
巢ハ人家ニ速キ水辺ノ地上ニ構造スルヲ云フ其水ノ入ル間カニ游泳
時々頭ヲ水中ニ没シ其食餌ヲ求ムハ魚蝦類草木等ナリ其鳥ハ
翅骨強クシテ高ク翔リ獵者ニ驚腰ニ附クニ其更ニ難易セス
鷹却テ捕タルトアリト云フ
羽ハ羽葉ヲ作ルベシ又揚子ノ前羽トスベシ
腹毛ハ襯衣及ヒ巾類ノ製スルニ 肉ハ食フベシ
日本紀伊仁帝ノ皇太子於津別ノ王生年既三十三ニ未タ言ヒ於六月一日
大殿前ニ於テ鳴鵞アリ太皇太后度レ王仰テ之ヲ觀テ曰ク是何物ト
帝其言ハルヲ喜ヒ給ヒ人鵞ヲ捕ヘシ人追テ出雲ニ詣リ捕獲スル
コトヲ得タリ還テ鵞ヲ獻テ帝厚ク之ヲ賞シ姓ヲ鳥取邊ト賜テ因
テ鳥取部鳥養部ヲ定ム

効用

附説

名稱 雁

部分

頭 長クシテ淡茶褐色
嘴 頰ニ連リ起リ黄色
翼 黒色
脚 短シテ蹠アリ黄
赤色
尾 短クシテ黒シ
羽毛 背背青淡茶褐
色ニシテ腹白ク黒
褐ノ斑アリ
形 鴻ヨリ小シ

常習

種類

附説

此亦遷徙鳥ノ一ニシテ秋南ニ来リ春北ニ去ル去去俱ニ雌雄相
並ビ數對行列ス偶ヲ失ハ一ニテ来去スルノミ再相配スルコト
ナレ夜ニ群共ニ宿シテ一ニテ之ヲ巡警言スト云フ此鳥ハ游泳沈潜
自在ニシテ魚類爬虫類植物等ヲ食ストス
カリガネハバシロ、白雁、新鴻雁等アリ
肉厚ク脂肪多クシテ美ナリ
俗ニ外分濱ノ雁凡呂湯ト云フ詰ヒヤリ是ハ毎年秋雁一尺許リ
ノ木枝ヲ啣シ来リ此濱ハ息ヲ付木枝ヲ遺レ又南方ヘ飛ビ去リ
翌春帰来テ各隻其木枝ヲ啣シ北方ヘ帰ル然レテ歸リ来ル
雁甚タ稀ニシテ其木枝堆積ス此辺ノ俗此木枝ヲ採リ風
呂湯ヲ焚キ諸人ニ浴セシムテ死雁ヲ吊フト云フ

名稱 鴨

部分

頭 灰色
嘴 長ク長ク色赤シ
背 灰白
脚 蹠アリテ赤シ
尾 短シ
腹 白色
形 鴨ヨリナリ

常習

種類

効用

海ニ居ルヲ海鴨ト云ヒ江ニ居ルヲ江鴨ト云フ
湖水溪河ニモ亦居ル漁場ニ群聚シ喧噪シテ腥
鮮ヲ貪ル又万里ノ晴波ニ汎シテ閑ナルコト
機ヲ忘ルモノ、如シ然レバ其性惟怯ニシテ
争鬪ヲ好ミ故ナキニ互ニ攻撃ヲナスコト往々
アリ其声ハ清亮ニシテ高キモノナリ
海鴨オホカモト云フ大ニソ茶褐色又黒白斑
駁ナルモノナリ外ニワシカモ、大灘カモメアリ
庭池ニ馴養スヘシ

名稱 鳧

部分

頭 深紫色ニシテ綠
光アリ
頸 長ク頸ト同色
嘴 扁クシテ黄
背 灰色ニ黒斑アリ
翼 蒼黒色ニシテ綠
黒白ヲ交ユ
脚 短シテ赤シ
尾 短シ
羽毛 喉下白色ニシテ胸
ハ紫ニシテ黒点アリ
腹ハ淡白微紫
色ニシテ黒点アリ

常習

種類

効用

秋鴻雁来ル後此鳥来リ春鴻雁帰リレ後此鳥亦
帰ル其脚後方ニアルヲ以テ地上ヲ歩ムルハキ
メテ不便ノ如クナレバ水上ハ此鳥ノ家トスル
所ナリ飛翔スルコトモ輕捷迅速ニシテ高抗ハ
長夜ニハ數百群ヲナシ天ヲ蔽フテ飛テ声風雨
ノ如シ毎ニ淡水ノ池沢湖河ニ来リ魚蝦類及ヒ
植物ヲ食フ
カルカモ、尾長カモ、ヨシカモ、羽白カモ、クキカモ、クワモ等猶
多シ
肉味美ナリ
鳧類中此鳥ヲ綠頭ト稱シテ最モ上品トス





名稱 刁鳥 ヲガモ

部分

頭 紫色
頸 長シ
嘴 扁クシテ黒クシテ赤ヲ帯フ
翼 蒼クシテ緑白黒
脚 短ク黒ク赤ヲ帯フ
羽毛 背脊クシテ赤ヲ帯フ花紋アリ腹淡蒼胸黄赤黒点ナリ西眼碧ク白脰ハ白ニ似テ小ナリ

効用 肉ヲ食用ニ供ス

常習

秋鳥ニ先テ来リ春鳥ニ後レテ歸ル晨夜群ヲナシ高ク飛翔ス性能ク半バ水中ニ沈ミ又ハ全身水中ニ没シテ水草ノ根及ビ泥ヲ食フ肉味極ノテ美ニシテ鳥ニ減ヒズ世ノ賞スル所モマカモニ次グモノナリ



名稱

部分

嘴 細ク米兩端鋸齒ヲナス
翼 長クシテ淡紫赤色黒羽ヲ交ヘ
脚 短クシテ蹠アリ赤ヲ帯フ
尾 ヤ、長ク黒白羽交
羽毛 頭背灰色ニシテ腹正白色
形 刁鳥ニ似タリ

常習

此鳥ハ甚タ鳥屬ニ似テ来去モ大抵相同レ毎ニ水中ニ栖ミ自在ニ游泳シ曠モ水中ヲ潜ルニ巧ミナリ元來ノ栖処ハ寒國ニテ夏月湖水ニ来リ卵ヲ孵レ冬月ハ海中へ出ヅ其食餌トスル所ハ魚類及ヒ爬虫類等ナリ



名稱 信天翁

部分

頭 圓シ
頸 ヤ、長シ
喙 長ク黒クシテ黒羽ヲ交ヘ
翼 長ク灰白色ニシテ黒羽ヲ交ヘ
脚 短ク赤色ナリ
羽毛 全身淡青白色ナリ
形 鴨ニ似テ惟ヨリ大ナリ

常習

熱帯地方ノ海濱ニ栖ム大鳥ニシテ巢ヲ孤島ノ寂寞タル所ニ構フ毎ニ魚類ヲ食シ往々小水鳥ヲ食フコトアリ然レモ甚タ食ヲ貪ラズ終日水際ニ立テ動カズ魚ノ過ルヲ見テ之ヲ捕ル魚ナクレバ亦地ヲ易ヘズ或ハ鷓鴣ノ誤テ魚ヲ落スヲ待テ之ヲ食フ此鳥ハ羽毛脱スルコトアリテ飛ブコト能ハズシテ飢ヲ死スルコトアリト云フ

名稱 鷓鴣

部分

頭 紫黑色ニシテ脚ヲ交ヘタリ冠毛ナリ
頸 眼辺白ク頸ニ褐色
嘴 扁クシテ細羽垂ル
翼 扁クシテ紫紅色
脚 短ク赤色ナリ
羽毛 トホ
尾 短クシテ黒色緑光アリ翅モ同色ナリ
脚 短ク黄色ニシテ蹠アリ
形 鴨ニ似テ惟ヨリ大ナリ

常習

京師竜安寺金閣寺等ノ池及ヒ大穴ニ多シ冬来リ春去ル又越年スルモアリ其ハ橋水ノ空洞中ニ巢ヒ卵ヲ孵ス又ハ卵ヲ菰葦間ニ伏ス雌ノ形状ハ大ニ雄ニ劣レリ且ツ羽モノナリ此鳥雌雄相愛レテ少間モ其偶ヲ離ラフナシ性人ニ馴レ易シ食餌ハ小魚稻麦等ナリ

種類

附説

レマラシイハテアリ
人ノヲ園池ニ養ヒ大ニ之ヲ愛玩ス
昔者一獵夫アリ弓ヲ以テ此鳥ヲ射切レリ翌年再シ其水辺ヲ往來シテ雌鳥一隻ヲ見忽チ射テ之ヲ殺セリ然レモ此雌ノ翼中ニ物アル如シ之ヲ檢スルニ即チ去年射切リ所ノ雄ノ首ヲ抱持セリト云フ其仇儂ノ厚ヲ見ルベシ

鳥類
鴨
鷓鴣
信天翁
刁鳥



羽毛 胸上紫褐色高脚ニ白脰アリ胸腹白シ背ハ灰色ナリ 形 刁鳥ニ似テ大ナリ

學動物教授書卷之二終

明治十五年
四月六日版
權免許
同年十二
月廿日出版

發賣所



東京書林
同 同 同 同 同

編輯人

出版人

群馬縣士族

堤

辰二

群馬縣西群馬郡高崎

柳川町十三番地

平民

高橋

曙

東京日本橋區上槇町

東京書林

金港堂

發

吉川半七

賣

小林喜右衛門

所

小林新兵衛

同

東京日本橋區南傳馬町三丁目六番地

高崎

煥乎堂本店藏版

鴨

藤塚村

藤塚村

藤塚村

氏家文源十郎

菟集者

二部

文家清子